

ANNUAL REPORT

2004 – 2005

No. 28



Department of Social Systems and Management
Graduate School of Systems and Information Engineering
University of Tsukuba

まえがき

システム情報工学研究科社会システム・マネジメント専攻は、社会問題（経済，経営，都市地域等の諸問題）を工学的（分析的，数理的，計量的）な問題発見手法とアプローチによって解明し，政策的および計画的な意味合いを見出す，という研究上の共通目標をもつ研究・教育者の組織である。各構成員は，国内および国際的に求められるような質の高い研究成果を上げるように，また良き教育者であるように努めている。

昨年度まで，本アニュアル・レポートは「社会工学系アニュアル・レポート」として刊行されてきた。しかしながら，平成 17 年 4 月 1 日に社会工学系所属教員の多くが社会システム・マネジメント専攻へと移行したことに伴い，本年度からは社会システム・マネジメント専攻アニュアル・レポートとして刊行することとした。なお，旧社会工学系所属教員のうちリスク工学専攻およびビジネス科学研究科，人文社会学研究科所属教員については，昨年度のアニュアル・レポートを最後に記載されないこととなった。

平成 17 年度当初（平成 17 年 4 月 1 日現在）の社会システム・マネジメント専攻の教員は，教授 28 名，助教授 20 名，講師 19 名の計 67 名である。

現在，社会システム・マネジメント専攻に所属している教員の平成 16 年度中の研究・教育活動は以下のようにまとめることができる。

(1) 研究活動と国際交流

社会システム・マネジメント専攻の研究活動は，平成 16 年度も全分野にわたって活発に展開された。国内外論文・著書発表数，国内外学会発表数は堅調であり，多くの教員は審査付きの国際的な学術誌への論文投稿・登載のために努力した。旧社会工学系発行の Discussion Paper は 32 編（平成 15 年度は 53 編）であった。積極的に競争的資金の獲得に努め，科学研究費補助金等にも着実に採択されている。学会賞等の受賞件数は 3 件（日本建築学会関東支部主催コンペ最優秀賞，日本港湾協会賞，日本建築学会奨励賞）であった。

国際交流協定は，専攻として責任を持っているものが，精華大学（中華人民共和国），漢陽大学（以上，大韓民国），南オーストラリア大学，南オーストラリア・フリンダース大学，アデレード大学（以上，オーストラリア連邦），ウィーン経済・経営大学（オーストリア共和国）の 6 協定であり，中国科学院研究生院（中華人民共和国）との協定に参加している。これらの大学・研究機関とは，若干名ながら研究者および学生の交流・交換が継続されている。外国人研究者の受け入れと教員の海外派遣は極めて多く，国際的な研究交流が盛んであることが示された。

(2) 教育と人事

社会システム・マネジメント専攻から教員が，本専攻に加え関連する教育組織は，第三学群の社会工学類，システム情報工学研究科前期博士課程の経営・政策科学専攻，社会システム工学専攻，修士課程環境科学研究科である。

社会システム・マネジメント専攻は教員の流動性が非常に高く、それに伴い採用・昇任人事が経常的に行われてきた。そこでは、審査付き学术论文を重視した業績評価を基礎とし、一部実務経験を加味して、開かれた透明な審査に努めてきた。しかし、モビリティの高さは、人事に投入する労力の多さも意味しており、優秀な人材の確保維持のためには、継続した努力が必要である。

本専攻の教員は、様々な研究分野・職歴・国籍をもつ。多様な教員間の活発な交流が、相乗効果により研究成果の向上をもたらすことを期待する。本専攻の更なる成長のためには、研究・教育意欲を刺激するような環境と開かれた運営体制を整備し、中長期的視野に立ち有能な人材を確保することが必要である。また、専攻業績の定期的な記録と自己評価により、専攻教員活動の説明責任を果たさねばならない。本報告書がそのような課題に対応するための資料を提供し、構成員および関係者の意識向上に貢献できれば幸いである。

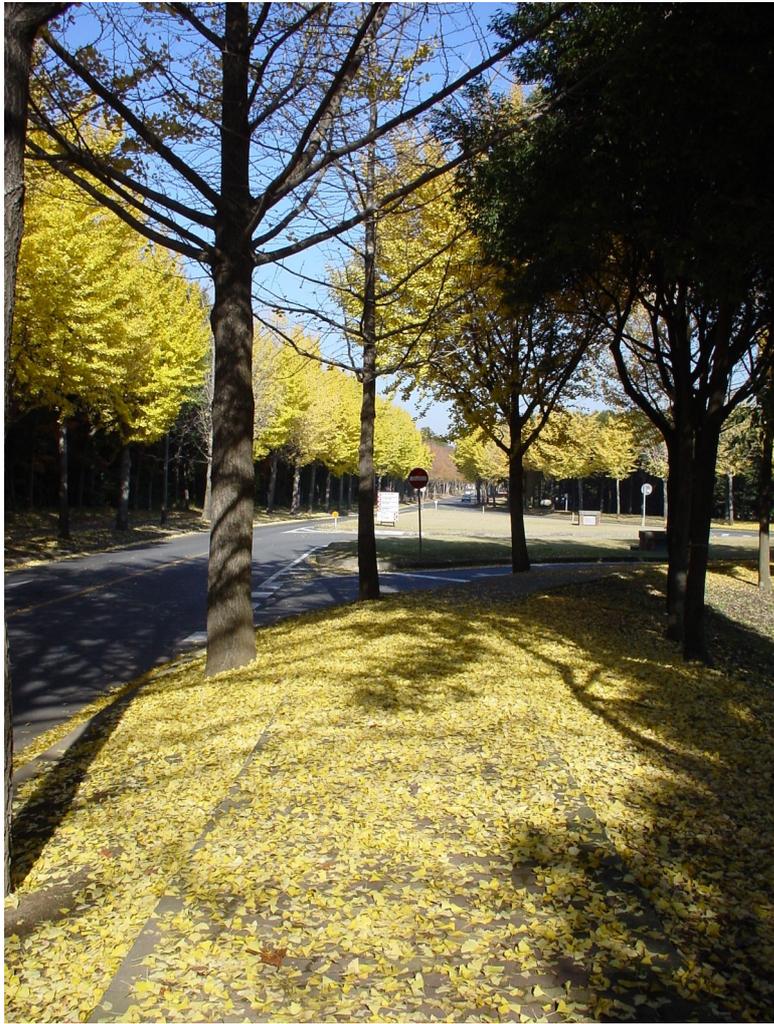
平成 18 年 1 月 18 日

社会システム・マネジメント専攻長
石田 東生

目次

I.	概要	1
I-1	沿革	3
II.	教員一覧	5
III.	研究活動	13
III-1	科学研究費・学内プロジェクト	15
III-2	受託研究・奨学寄付金	18
III-3	ファカルティ・セミナー	21
III-4	ディスカッション・ペーパー	24
IV.	各教員研究・教育活動	27
教授	29
助教授	72
講師	103

I. 概要

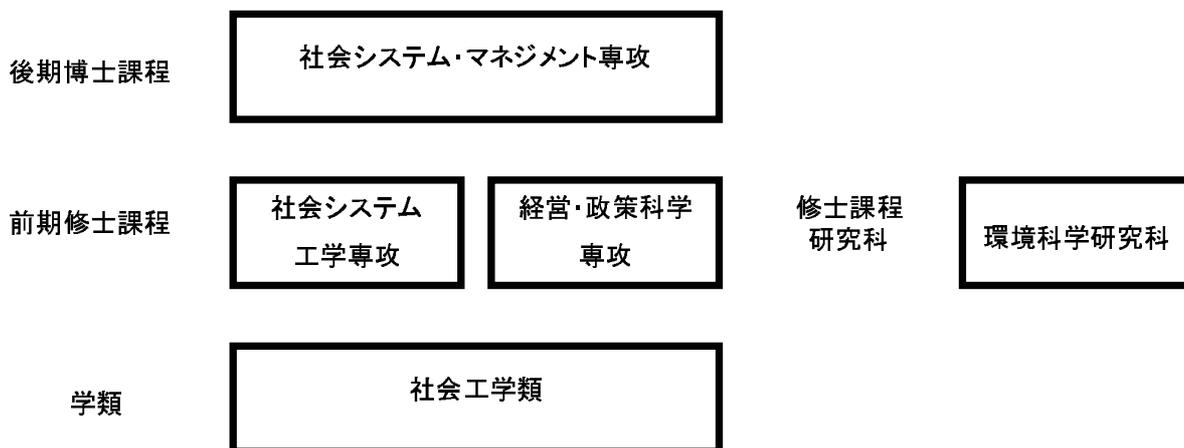


I-1 沿革

- 昭 38. 9 研究学園都市を筑波地区に建設することを閣議了解
- 昭 45. 5 筑波研究学園都市建設法成立
- 昭 47. 5 筑波新大学 (仮設) など 42 機関を閣議決定
- 昭 48. 10 筑波大学設置
- 昭 50. 4 社会工学系発足
社会工学研究科 計量計画学専攻 (博士課程) 発足
- 昭 51. 4 経営・政策科学研究科 経営・政策科学専攻 (修士課程) 発足
- 昭 52. 4 第三学群社会工学類発足
環境科学研究科 (修士課程) 発足
- 昭 53. 4 社会工学研究科計量計画学, 都市・地域計画学専攻 (博士課程) 発足
- 昭 54. 4 社会工学研究科経営工学専攻 (博士課程) 発足
- 昭 56. 3 社会工学類第一回生卒業
- 昭 58. 4 第三学群国際関係学類発足
- 平 1. 4 経営・政策科学研究科 経営システム科学専攻 (夜間修士課程, 大塚地区) 発足
- 平 4. 4 国際政治経済学研究科 (博士課程) 発足
- 平 8. 4 経営・政策科学研究科 企業科学専攻 (夜間博士課程, 大塚地区) 発足
- 平 9. 4 社会工学研究科 計量ファイナンス・マネジメント専攻新設,
社会経済システム, システム情報数理, 都市・環境システム専攻に改組再編
- 平 12. 4 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻 (博士課程, 社会経済システム,
システム情報数理, 都市・環境システム分野),
計量ファイナンス・マネジメント専攻 (博士課程) 発足
- 平 13. 4 ビジネス科学研究科 経営システム学科, 企業法学,
企業科学専攻 (夜間・前後区分制博士課程, 大塚地区),
システム情報工学研究科 リスク工学専攻 (博士課程) 発足
- 平 16. 3 総合研究棟 B 竣工 (リスク工学専攻の教員 5 名が移転)
- 平 16. 4 筑波大学が国立大学法人に
システム情報工学研究科が部局化 (人事, 予算, 施設を所掌)
学系は組織評価・企画提言を行なう組織に

- 平 17. 4 社会システム工学専攻（博士課程）が
 社会システム工学専攻（前期修士課程）と
 社会システム・マネジメント専攻（後期博士課程）に改組
 経営・政策科学研究科（修士課程研究科）が
 経営・政策科学専攻（前期修士課程）に改組

組織構成と専攻および関連組織



関連組織: リスク工学専攻, 産学リエゾン共同研究センター

II. 教員一覽

(平成16年4月～平成17年11月)



教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
浅野 哲	計量経済学 ミクロ計量経済学	個人の経済行動のデータから選好のパラメータを推定する手法の開発と応用
石田 東生 (社会システム・マネジメント専攻長 H17.4.1-)	都市交通計画 社会基盤施設計画 交通需要予測	都市公共交通政策，交通施設整備政策の変遷，交通計画策定プロセスにおける評価とパブリックインボルブメントの可能性と方法
大澤 義明	都市計画 地域科学	立地理論，空間的競争モデル，地理データ解析
大村 謙二郎	都市計画 都市計画史	土地利用計画，計画制度，都市計画史
小場瀬 令二	都市環境デザイン	環境共生住宅，地域重視型住宅，フィンランドの都市計画，まちづくりとワークショップ
金澤 雄一郎	統計学 データ解析	一般化線形モデル，欠損値を含んだデータの解析
金子 守	ゲーム論 認識理論 理論経済学	ゲーム論の基礎と応用 認識と経験 住宅市場
岸本 一男	数理工学	数理ファイナンス デジタル幾何 数理政治学
黒田 誼	農業経済学 経済発展論	技術進歩，農業成長および経済発展，農業および食料政策
香田 正人 (社会システム工学専攻長 H17.4.1-)	システム科学 応用数理解析 データマイニング工学	システム最適化，感度解析，ニューラル・ネットワーク，機械学習等の理論的研究と，それらの技術のデータマイニングや発見科学への応用
腰塚 武志 (副学長 H16.4.1-)	都市工学 積分幾何学	都市の物的構造を数理的に明らかにすること．積分幾何とその応用．移動からみた都市構造の分析
佐藤 亮 (社会工学類長 H15.4.1-H17.3.31)	経営システム工学 システム科学	経営情報システム，離散事象システム，ビジネスプロセス工学，一般システム理論
庄司 功	応用時系列解析	ダイナミカルシステムモデルの推定

教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
住田 潮	確率過程・応用確率論 情報システム/マルチメディア・ネットワーク 国際経営比較	確率計算アルゴリズム，情報通信ネットワークの評価・解析，日米経営比較
高木 英明	通信ネットワーク 確率モデル 待ち行列理論	マルチメディア情報通信ネットワークの性能評価モデル
土井 正幸	地域経済学 交通経済学	発展途上国交通経済論，港湾経済論，国際物流論，開発経済学，地域経済発展とインフラストラクチャ整備，を含む。
中村 豊	意思決定理論	不確実性下の意思決定の理論的基礎とその応用
橋本 昭洋	社会システム 評価・決定論	社会システム分析，公共部門意思決定，評価・決定方法論，非画一的総合評価
藤井 英次	国際金融論 国際経済学	相対物価・為替レートのダイナミクス，財・資本市場の国際統合
藤原 良叔	組合せ理論とその応用	組合せ理論 / 離散数学とその情報科学や統計学への応用
古川 俊一 (経営・政策科学専攻長 H17.4.1-)	行政学 政治学 公共政策学	地方行財政論，地方分権と政府間関係論，公共経営論，比較行政制度論，公共政策評価論
星野 靖雄	経営管理論 経営財務論 国際経営論	企業合併の計量分析，合併企業の行動分析，日本的経営論

ホーン ウタ	Urban and regional planning and development	Analysis of urban and regional governance, urban and regional restructuring in the context of economic, demographic and social change (etc. integrative revitalisation strategies for deprived neighbourhoods, concepts for shrinking cities, flagship developments in metropolitan regions), comparison of planning cultures
松田 紀之 (計量ファイナンス・マネジメント専攻長 H16.4.1-H17.3.31)	認知心理学 情報デザイン	感性的判断支援と分析, ブランドイメージ, リスク認知, セマンティックインターフェイス
焼田 党	マクロ経済学 公共経済学	マクロ経済モデルと税, 公共支出など政策効果の研究
山本 芳嗣 (社会工学研究科長・システム情報工学研究科 社会システム工学専攻長 H15.4.1-H17.3.31)	数理計画	均衡点問題とそのアルゴリズム, 大域的最適化
横張 真	緑地環境計画	都市近郊における緑地計画の方法論に関する研究, 緑地の環境保全機能に関する研究
吉田 あつし	都市経済学 空間統計学 応用計量経済学 医療経済学	標準雇用大都市圏の形成と集積の経済, 地域間交易の経済統計モデル, 空間計量経済モデルの開発地域医療・介護保険制度とティプー仮説の検証, 医療保険制度の改正と医療サービスの需要及び供給の分析
吉田 雅敏 (社会工学類長 H17.4.1-)	財政学 公共経済学 経済成長論	税, 公共投資などの財政学における基本問題の研究
助教授		
氏名 / 職名	専門分野	研究内容
秋山 英三	ゲーム理論 力学系	限定合理性, ゲームにおける時間構造についての研究, 進化ゲーム
有田 智一	地域科学 都市計画	産業集積, 都市・地域政策, 都市計画制度
石井 健一	コミュニケーション 情報社会	海外の日本番組, 情報機器の普及と採用, 移動体通信の利用行動

江口 匡太	労働経済学	労働契約の理論，労働法の経済分析
太田 充	地域科学 都市経済学 都市計画	空間経済システムの自己組織化及び構造変化
岡本 直久	交通計画 観光計画	社会資本整備のもたらす効果の計測，観光交通の調査及び需要推計方法
繁野 麻衣子	数理計画 組合せ最適化	組合せ最適化問題に関する算法の開発
白波瀬 佐和子	社会学 比較社会学	公的保障と家族，個人と世帯，人口変動に関する社会学的分析
鈴木 秀男	応用統計 品質管理	統計的手法と機械学習法の開発，その品質管理と商品企画への応用
TURNBULL, Stephen John	ゲーム論 情報経済 実験経済	インターネット経済(設備・システム組織，電子商業)，オープンソースソフトウェアの経済的環境
高橋 正文	派生証券評価 金融リスク管理	金融資本市場の価格評価，価格変動解析，VARを中心とする市場リスク管理手法の研究
竹原 均	財務管理論	資産価格評価モデルに関する実証分析，ポートフォリオのリスク管理及び最適化に関する研究
張 勇兵	分散システム 通信ネットワーク 性能評価	分散システムにおける資源の最適配分，移動通信システムにおける資源管理，光ネットワークにおける波長ルーティング及び論理ネットワークの構築
堤 盛人	地理情報科学	空間回帰モデル，空間内挿，地理情報システム，不動産情報管理
永易 淳	国際金融 ファイナンス	為替と株価などの国際金融、ファイナンスの実証研究、金融政策
原嶋 耐治	日本経済論	日本経済の直面している諸課題に関する研究
藤川 昌樹	日本建築史・都市史	日本の近世・近代都市史研究，農村の建築ストックに関する研究
繆 瑩 (Miao Ying)	実験計画法 組合せ理論 情報理論	デザイン，符号，暗号の構成と分類，及び組合せアルゴリズム

吉瀬 章子	数理計画 オペレーションズ・リサーチ	線形・非線形最適化問題に対する効率のよい算法の開発
吉野 邦彦	リモートセンシング 地域環境工学	衛星リモートセンシングデータによる土地被覆・土地利用解析，地表面の方向性分光反射特性の解析とモデル化
渡辺 俊	建築・都市計画 設計学	マルチメディア社会における都市計画・建築計画，知的設計支援システムの設計・開発

講師

氏名 / 職名	専門分野	研究内容
有馬 澄佳	コンピューターデバイス 生産管理 オペレーション管理	半導体生産システム管理, サプライチェーンマネジメント, ロジスティクス, PLM など
石川 竜一郎	ゲーム理論 ミクロ経済学	意思決定における認識の役割, 経験による社会観の形成, 非対称情報下の市場分析
上市 秀雄	意思決定論 認知心理学 社会心理学	意思決定における個人差, 感情が意思決定に及ぼす影響
大久保 正勝	マクロ経済学 計量経済学	異時点間の消費決定に関する実証研究, 時系列計量経済学の応用
後藤 順哉	数理計画 (連続最適化) 金融最適化	数理計画の金融への応用 & 解法の研究 大域的最適化
近藤 文代	時系列解析 統計解析 マーケティングデータ分析	ビジネスにおける時系列データ解析および解析手法の開発
斎尾 直子	建築計画 都市・農村計画	小学校 - 大学と生涯学習施設等の地域拠点施設計画, 都市-農村の居住環境整備のための地域社会計画
新谷 由紀子	科学技術政策	産学官連携に関する研究
八森 正泰	離散数学 組合せ論	トポロジー的組合せ論, 離散数学におけるトポロジー的手法, およびその応用
原田 信行	応用計量経済学 中小企業経済学	マクロあるいはミクロデータによる実証分析. 中小企業の動態および政策に関する理論・実証分析.

藤井 さやか	都市計画 まちづくり法制 住環境整備	都市計画制度の体系的運用方策の検討． 地区レベルのまちづくりに関する研究．
水野 誠	マーケティング 消費者行動	消費者選好の相互作用と進化，長期的視点から見たマーケティング環境と戦略
三橋 平	マクロ組織行動論	組織間関係と組織バウンダリー
柳原 宏和	数理統計学	非正規性の下での標本分布論とその応用
山鹿 久木	都市経済学 計量経済学	都市住宅，交通混雑，都市間環境格差の経済分析
吉田 謙太郎	環境経済・政策学 政策評価論	環境の経済評価，環境政策の経済分析，食品安全性と消費者行動
吉田 友彦	住環境整備 都市計画	既成市街地の整備手法の開発，基盤整備事業と自治体住宅政策の連携，外国人居住と基盤整備事業の関係
渡辺 真一郎	組織行動論	組織における人間行動を規定する状況要因と心理学的個人差要因の間の相互作用過程に関する研究

III. 研究活動



III-1 科学研究費・学内プロジェクト

科学研究費補助金一覧表

研究種目	氏名	研究課題
基盤研究 (B)(2)	土井 正幸	生産基盤としての運輸整備・効率化、情報化進展、エネルギー効率化の経済分析・政策
基盤研究 (B)(2)	山本 芳嗣	制御不能な部分システムを含む最適化問題
基盤研究 (B)(2)	腰塚 武志	移動時間分布と通過量分布による都市空間の分析
基盤研究 (B)(2)	横張 真	都市近郊における農地・里山を内包した小規模物質循環システムに関する研究
基盤研究 (B)(2)	藤川 昌樹	伝統的都市における街区保存手法の日中比較 - 北京と京都を事例として -
基盤研究 (B)(2)	藤原 良叔	デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究
基盤研究 (B)(2)	大澤 義明	欧州における間接税競争・税調和政策の実態調査
基盤研究 (B)(2)	石井 健一	中国のメディアの対日報道と対日意識の関連 - 社会調査と内容分析による実証研究 -
基盤研究 (C)(1)	斎尾 直子	「市町村合併時代における農村計画ネットワーク構築に関する研究」のための企画調査
基盤研究 (C)(2)	吉田 あつし	医療・介護サービス需要と供給の計量分析
基盤研究 (C)(2)	藤井 英次	相対価格の動的習性と小売市場の統合に関する研究
基盤研究 (C)(2)	香田 正人	データマイニングモデルの統合とCRMビジネスモデルのプロトタイピング
基盤研究 (C)(2)	太田 充	都市内立地の内生的決定に関する数値計算的アプローチ
基盤研究 (C)(2)	金田 直之	企業経営者による利益操作の研究
基盤研究 (C)(2)	上市 秀雄	逸脱行動が生起するプロセスと矯正方法に関する研究
基盤研究 (C)(2)	岸本 一男	協力支配点集合とその応用
基盤研究 (C)(2)	石田 東生	プローブカーを用いた渋滞計測と評価に関する研究

基盤研究 (C)(2)	藤原 良叔	ソフトウェアテストに用いる検査計画の構成に関する研究
基盤研究 (C)(2)	金澤 雄一郎	ランダム係数ロジットモデルを用いたアメリカ自動車需要の推定とマーケティング的考察
基盤研究 (C)(2)	星野 靖雄	国際的企業合併、買収、撤退、合併、完全子会社の業績についての実証研究
基盤研究 (C)(2)	水野 誠	消費者選好の形成と変化に関する研究
萌芽研究	渡辺 真一郎	「性格特性 内発的動機付け 継続的学習行動」因果モデルの産業・職種別分析
萌芽研究	中村 豊	満足化原理にもとづく限定合理的意思決定の公理論的基礎とその応用に関する研究
若手研究 (A)	三橋 平	組織衰退・滅亡の過程とそのパターンに関する実証研究
若手研究 (B)	江口 匡太	契約の不完備性と司法判断、社会規範に関する研究
若手研究 (B)	山鹿 久木	地震危険度が地価形成に与える影響
若手研究 (B)	後藤 順哉	半正定値計画によるクラスタリング問題の効率的解法と金融リスク分析への応用
若手研究 (B)	柳原 宏和	歪みをもち裾の重い誤差分布を用いた回帰分析法の開発
若手研究 (B)	八森 正泰	単体的複体のトポロジー的組合せ論とグラフの非巡回的向き付け上の最適化問題の研究
若手研究 (B)	堤 盛人	不動産投資プロジェクトに内在するリスク評価のための不動産業に関する国際比較
若手研究 (B)	吉田 謙太郎	地方環境税導入のための効率的な意思決定支援手法の研究
若手研究 (B)	大久保 正勝	家計の選好パラメータの推定とその規定要因に関する実証研究
特別研究員奨励費	石川 竜一郎	ゲーム理論及び経済理論における認識論的基礎に関する研究
特別研究員奨励費	藤井 さやか	建替を要する老朽化マンションに対する諸対策の検討
基盤研究 (B)(1)	上市 秀雄	進路意思決定における認知・感情過程のモデル化
基盤研究 (B)(1)	江口 匡太	倒産をめぐる法制度の経済分析
基盤研究 (B)(1)	斎尾 直子	都市環境再生を目標とした大学と地域の持続的連携計画・マネジメントに関する研究
基盤研究 (B)(1)	腰塚 武志	都市の交通および施設配置に関する総合的研究
基盤研究 (B)(1)	山鹿 久木	オフィスビル容積率緩和の一般均衡経済効果の測定

厚生労働科学研究 白波瀬佐和子 介護サービスと世帯・地域との関係に関する実証研究
費

厚生労働科学研究 白波瀬佐和子 少子高齢社会の社会経済的格差に関する国際比較研究
費

学内プロジェクト研究費 採択一覧表

研究種目	代表者	研究課題
助成研究 (A)	張勇兵	波長多重光通信システムにおける波長ルーティング方式と論理ネットワークの構築法に関する研究
助成研究 (A)	土井 正幸	C G E (計算可能一般均衡) モデルによる経済政策評価アプローチの確立 - 高度化・応用拡大・標準化・類型化・移転可能化 -

III-2 受託研究・奨学寄付金

一般受託研究受入一覧表

	担当者	研究期間	研究題目	委託機関
1	有田 智一	16.04.01 ~ 16.6.30	筑波研究学園都市の科学技術関連の集積を活用した業務核都市の育成整備方策調査	土浦・つくば・牛久業務核都市整備推進協議会
2	吉田 あつし	16.04.20 ~ 17.3.31	医療システムと倫理（医療システムと医療専門家組織、保険者、民間保険機関の役割）	独立行政法人 日本学術振興会
3	横張 真	16.10.05 ~ 17.3.11	中山間地域における対流に伴う教育・保健等機能の評価手法の開発	独立行政法人 農業工学研究所
4	高木 英明	16.09.01 ~ 17.3.31	IMT-2000 の高度化及びその後継システムにおける所要周波数帯域幅算出方法に関する研究	社団法人 電波産業会 内 モバイル IT フォーラム
5	石田 東生 岡本 直久 堤 盛人	16.11.01 ~ 17.2.28	平成16年度 技術革新と需要変化を見据えた交通部門のCO2削減中長期戦略に関する研究（リードタイムを考慮した対策技術導入の効果と政策手段に関する研究）	独立行政法人 国立環境研究所

奨学寄付金一覧表

研究担当者	研究題目	寄附者
1 松田 紀之	消費者ニーズ解析の新手法：Stepwise Preference Probing (SPP) の提案	サントリー株式会社
2 大澤 義明	ゴミ焼却場の立地，広域化，景観に関する理論的研究（2003年度鹿島学術振興財団研究助成）	大澤義明（原寄附者：財団法人 鹿島学術振興財団）
3 焼田 党	個人の教育選択と教育費調達および経済発展への影響（簡易保険文化財団平成16年度調査研究助成）	焼田 党（原寄附者：財団法人 簡易保険文化財団）
4 永易 淳	為替・金融政策に関する研究（平成15年度「公益信託 山田学術奨励基金」奨励事業）	永易 淳（原寄附者：公益信託 山田学術奨励基金）
5 大村 謙二郎	開発需要構造転換時代の都市再生に関する研究（2003年度鹿島学術振興財団研究助成）	大村 謙二郎（原寄附者：財団法人 鹿島学術振興財団）
6 吉田 あつし	医師の学閥ネットワークとキャリアパスに関する研究	財団法人 村田学術振興財団

7	永易 淳	東証株価指数 (TOPIX) の決定要因の再分析 (財団法人 学術振興野村基金 2004 年度研究プロジェクト助成)	永易 淳(原寄附者:財団法人 学術振興野村基金)
8	永易 淳	東証株価指数 (TOPIX) の決定要因の再分析 (財団法人 石井記念証券研究振興財団 平成 16 年度研究助成)	永易 淳(原寄附者:財団法人 石井記念証券研究振興財団)
9	三橋 平	海運産業に関する研究	Henrich R. Greve (Norwegian School of Management)
10	石田 東生	沿道景観の保全と活用に関する研究	社団法人 北海道開発技術センター
11	住田 潮 山本芳嗣 後藤順哉	信用リスク制御に関する研究	みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社
12	石田 東生	東アジア諸国におけるプロンプカーに関する研究	日本工営株式会社 コンサルタント国内カンパニー

III-3 ファカルティ・セミナー

回	年月日	報告者	所属	テーマ
1	2004.5.13	西山慎一 (永易淳)	日本銀行金融 研究所	Inflation Target as a Buffer against Liquidity Trap
2	2004.5.27	松川勇 (吉田雅敏)	武蔵大学 教 授	Econometric Analysis of Discrete/Continuous Choice of Electricity Prices and Time-of-day Electricity Consumption: A Japanese Peak-load Pricing Experiment
3	2004.6.3	金子守 (吉田あつし)	筑波大学シス テム情報工学 研究科	の心的内部構造：記憶と記憶からの社会観形成
4	2004.6.25	伊藤修一郎 (古川俊一)	群馬大学社会 情報学部助教 授	自治体の政策革新：景観条例制定過程の実証分析
5	2004.7.8	河合玲一郎 (後藤順哉)	ジョージア工 科大学経営シ ステム工学科	レピー過程に基づく金融モデルとその周辺
6	2004.7.8	藤井さやか (大澤義明)	日本学術振興 会特別研究員 PD	市街地環境整備に資する緩和手法の制度運用及び 空間形成の問題：総合設計を対象として
7	2004.7.8	吉村輝彦 (大澤義明)	国連地域開 発・研究員	次世代型都市計画・地域開発に向けて～日本・開 発途上国の経験から
8	2004.7.8	宇高雄志 (大澤義明)	広島大学大学 院工学研究科 助手	の多民族社会における居住空間計画と文化的遺産 の保全
9	2004.7.2	田中正秀 (大澤義明)	金沢星陵大学 経済学部助教 授	自己居住資産活用による高齢社会型リバース・モー ゲージのあり方に関する基礎的研究
10	2004.8.2	Rene van den Brink (山本芳嗣)	アムステルダ ム自由大学講 師	On the distribution of dividends in games with ordered players
11	2004.8.2	Jana Vyrastekiva (山本芳嗣)	ティルバーグ 大学ポスドク	Social dilemmas and economic ties
12	2004.7.8	神事直人 (焼田党)	一橋大学大学 院経済学研究 科	Strategic Environmental and Trade Policies in an Environmental Mixed Duopoly
13	2004.7.8	坂井豊貴 (焼田党)	University of Rochester 大 学 院 Ph.D コース 3	Fairness and implementability in allocation of in- divisible objects with monetary compensations
14	2004.7.9	石川竜一郎 (金子守)	カリフォルニ ア大パークレ イ校経済学部	Core equivalence in an economy under general- ized information
15	2004.7.22	飯味淳 (金子守)	国際協力銀行	(Anti-)Competitive effect of joint bidding: evi- dence from ODA procurement auctions

	年月日	報告者	所属	テーマ
16	2004.7.22	渡邊和孝 (金子守)	大阪大学 社会経済研究所	Prudential Regulation, the 'Credit Crunch' and the Ineffectiveness of Monetary Policy Evidence from Japan
17	2004.9.1	瀬田史彦 (大澤義明)	東京大学先端科学技術研究センター助手	グローバル化時代の国土・地域政策の展望～高付加価値産業の誘致政策に関する国内外の実証研究を踏まえて～
18	2004.9.1	福本潤也 (吉田あつし)	東京大学大学院新領域創成科学研究科助手	国土計画の政策分析と制度設計
19	2004.9.1	高暁路 (吉田あつし)	国土交通省国土技術政策総合研究所都市研究部都市開発研究室(研究員)	ミクロな住環境の外部性効果の分析及び土地利用計画への応用
20	2004.8.30	権赫旭 (金子守)	一橋大学経済学部	International R & D Spillovers between Korean and Japanese Manufacturing Industries
21	2004.9.30	室井芳史 (焼田党)	東京大学大学院経済学研究科(COE 特任研究員)	社債オプションの評価法について
22	2004.10.1	加藤尊秋 (焼田党)	東京工業大学社会理工学研究科助手	仮想市場法と回答者のインセンティブ:なぜ、人々は調査に答えるのか
23	2004.10.26	戸堂康之 (黒田諠)	東京都立大学経済学部助教授	Technology Adoption in Follower Countries: With or Without Local R & D Activities
24	2004.11.18	吉田雅敏 (焼田党)	筑波大学システム情報工学研究科教授	Keynesian Multipliers with Home Production
25	2004.11.17	松葉一清 (大村謙二郎)	朝日新聞編集委員	デジタル化がもたらす都市のポピュリズム
26	2004.11.17	奥山恭英 (大村謙二郎)	ウエストバージニア大学地域経済研究所	都市・地域の複合領域的研究と計画学への応用
27	2004.12.16	河村耕平 (江口匡太)	Oxford University	Anonymous Cheap Talk
28	2005.2.10	Yu Xia (ユウシャ) (吉瀬章子)	統計数理研究所	Minimum sum-of-squares clustering via concavity cuts
29	2005.1.18	飯村卓也 (山本芳嗣)	東京都立短期大学	離散一般均衡の存在と安定性
30	2005.1.18	楊 再福 (山本芳嗣)	横浜国立大学大学院国際社会科学研究所助教授	Discrete Fixed Point Analysis and Its Applications
31	2005.1.20	広瀬純夫 (江口匡太)	信州大学経済学部(講師)	倒産処理法制改革による企業倒産処理効率化の検証: 再建着手の早期化促進の効果を、財務による実証分析によって検証

	年月日	報告者	所属	テーマ
32	2005.2.17	大住康之 (江口匡太)	中京大学経済 学部 教授	Capital Accumulation, Unemployment, and Labor Shares in the Medium Run
33	2005.2.10	宇南山卓 (大久保勝正)	京都大学経済 研究所	Unemployment Risk and Consumption: Can the Buffer Stock Saving Behavior Explain the Japanese Experience?
34	2005.3.3	町北朋洋 (吉田あつし)	一橋大学経済 研究所	Is Learning by Migrating in Megalopolis Really Important?

III-4 ディスカッション・ペーパー

2004年度 社会工学系 DP(Discussion Paper Series) 一覧表

No.	著者	タイトル	登録月
No.1082	Lixing Sun and Makoto Ohta	Impacts of Japanese and the US Monetary Policies on Asian Economies	2004.4.26
No.1083	K. Ando, M.Tsurutani, M.Umezawa and Y.Yamamoto	Social Welfare Function for Restricted Preference Domain	2004.5.31
No.1084	Seizo Ikuta	An Integration of the Optimal Stopping Problem and The optimal Pricing Problem-Model with No Recall-	2004.6.28
No.1085	Mong Shan EE	Newsboy problem with pricing policy	2004.6.30
No.1086	Jae-dong Son	Customers Selection Problem with Idling Profit Where Only One Customer is Allowed to be Held-Revision of Discussion Paper	2004.6.28
No.1087	Jae-dong Son	Customers Selection Problem with Idling Profit	2004.6.28
No.1088	Yoshiaki OHSAWA Frank PLASTRIA and Kazuki TAMURA	Push-Pull Partial Covering Problems	2004.7.5
No.1089	YOSHIKO NOGAMI	Regret Region Hypothesis Testing—Application to the Left-Retracted Exponential Distribution	2004.7.14
No.1090	Akiko Yoshise	Interior Point Trajectories and a Homogeneous Model for Nonlinear Complementarity Problems over Symmetric Cones	2004.7.14
No.1091	柳原宏和	非正規データにおける情報量規準を用いた共分散構造モデルの選択問題「日本人の国民性調査」データへの適用	2004.8.3
No.1092	Natsuki Sano Hideo Suzuki Masato Koda	A Robust Boosting Method Using Zero-one Loss Function:SNRBoost	2004.9.2
No.1093	原田信行・石川智久	部門別設備投資と内部資本市場-製造業パネルデータによる実証分析-	2004.9.3
No.1094	Y.Yamamoto and D.Zenke	D.C.Optimization Methods for Minimum Maximal Flow Problem	2004.9.16
No.1095	Minoru Ohmikawa hideki Takagi Sang-Yong Kim	Optional call Admission Control for Voice Traffic in Cellular Mobile Communication Networks	2004.9.16

No.	著者	タイトル	登録月
No.1096	Jun-ya GOTOH, Akiko TAKEDA	A Linear Classification Model Based on Condition Geometric Score	2004.9.16
No.1097	Nobuyuki Harada	Video Game Demand in Japan: A Household Data Analysis	2004.10.1
No.1098	Mong Shan EE	A Switching Model of Optimal Asset Selling Problem	2004.10.22
No.1099	Masaki Murata Yongbing Zhang Hideaki Takagi and Yusheng Ji	Traffic-Based Reconfiguration for Logical Topology in Large-Scale WDM Optical	2004.11.1
No.1100	金盛長 (金子守)	ゲーム理論における合理性と限定合理性	2004.12.13
No.1101	Sang-Yong Kim and Hideaki Takagi	Dynamic Control of the Address Binding Update for Mobile Nodes in a Hierarchical Mobile IP Network	2004.12.13
No.1102	Mizuki Kawa- bata and Akiko Takahashi	Modeling with GIS: OD Commuting Times by Car and Public Transit in Tokyo	2005.2.21
No.1103	Jae-Dong Son	Customer Selection Problem with Multiple Servers and Profit From a Sideline	2005.1.18
No.1104	Ayami Suzuka Ryuhei Miyashiro Akiko Yoshise and Tomomi Matsui	Semidefinite Programming Based Ap- proaches to Home-away Assignment Prob- lems in Sports Scheduling	2005.2.21
No.1105	石井健一	対日意識とアジア志向の関連	2005.2.21
No.1106	Masatsu Okubo	Measurement of Intertemporal Substitu- tion under Nonseparable and Nonhomoth- etic Utility: The Case of Import Demand	2005.2.22
No.1107	Masatsu Okubo	Intertemporal Substitution and Nonhomoth- etic Preferences	2005.2.22
No.1108	Tadashi Yamada Tetsuji Yamada Weihong Zeng and Chia-Ching Chen	Why is Employee's Overwork Prevalent in Japan Despite the Adverse Effects on Health?	2005.3.14
No.1109	石井健一	韓流の源流ーアジア志向の経時的比較	2005.3.14
No.1110	西信洋 金田直之	経営者予想の信頼性	2005.3.16
No.1111	Yongxing Ye, Naoyuki Kaneda	Voluntary Disclosure practices of Japanese Corporations Listed on Mothers and Jasdq	2005.3.17
No.1112	Mizue Ohe Nobuko IGAKI Ushio SUMITA	Development of Parametric Simulation Mod- els for Structural Analysis of Voting Behav- iors in Public Referendum	2005.3.23
No.1113	Yoshiaki OHSAWA Naoya OZAK and Frank PLASTRIA	Equity-efficiency bicriteria location models with squared Euclidean distances	2005.3.25

IV. 各教員研究・教育活動



教授

石田 東生

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) カーナビゲーションシステムを用いた渋滞関連指標に関する基礎的研究、土木学会論文集、No.758、 -63、 pp.1-10、 共著、2004年
- 2) 東京都市圏における世帯の自動車保有及びトリップ発生に関する基礎的研究、土木計画学研究論文集、No.21、 pp.531-538、 共著、2004年
- 3) 走行映像を用いた主観的渋滞判定の実験条件の考察とその改良、土木計画学研究論文集、No.21、 pp.1041-1048、 共著、2004年9月
- 4) MOTORCYCLE-PROPELLED PUBLIC TRANSPORT AND LOCAL POLICY DEVELOPMENT -The Case of “ Tricycles ” and “ Habal-habal ” in Davao City Philippines- 、 IATSS RESEARCH(journal of international association of traffic and safety sciences)、 vol.28、 No.1、 pp.56-66、 共著、2004年
- 5) 路側観測によるNO_x 排出量推計方法に関する基礎的研究、第24回交通工学研究発表会論文報告集、 pp.213-216、 共著
- 6) Deployment of Intelligent Transportation Systems in Countries with Developing and Transitional Economies、 TRANSPORTATION RESEARCH RECORD NO.1886、 PP.1-9、 共著

ii) 査読なし論文

- 1) 新しい交通調査の方向、交通工学、No.6、 Vol.39、 pp.1-4、 単著、2004年
- 2) 震災に備える社会基盤整備のあり方、都市計画、Vol.53、 No.6、 2004年12月号(通巻No.252)、 pp.19-22、 単著、2004年

iii) 口頭発表講演概要など

- 1) 高速道路株式会社法案、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法案、日本道路公団等の民営化に伴う道路関係法律の整備等に関する法案及び日本道路公団等民営化関係法施行法案(参考人)、第159回国会衆議院国土交通省交通委員会宜録、13号、2004年4月13日開会、2004年

- 2) PIの現状と課題～道路計画を中心として～（平成16年度 総合課程 建設企画 「合意形成」研修）、国土交通省国土交通大学校、2004年6月7日講義、2004年
- 3) これからのITSに期待すること、ITSフォーラム2004『スマートウェイの今後の展開に向けて』、2004年8月7日講演、2004年
- 4) PIの現状と課題～道路計画を中心として～（平成16年度 専門課程 道路環境研修）、国土交通省国土交通大学校、2004年9月15日講義、2004年
- 5) シーニックバイウェイと地域と元気、“観振興と道路”シンポジウム、2004年9月17日講演、2004年
- 6) 未知普請とワッショイでつくる 美しいみちとまち、シーニックバイウェイ KANTO シンポジウム、2005年3月8日講演、2005年

(2) 学会活動

- 1) アジア交通学会理事

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：交通計画特論

環境科学研究科：国土交通計画論

社会工学類：交通計画、社会基盤整備と地域・国土計画、都市構造論、都市計画事例講義および実習、都市計画実習

(2) 役職・各種委員会委員

全学：筑波大学交通安全会理事，交通安全対策委員会副委員長

社会工学類：カリキュラム委員会委員長

III. 社会的活動

- 1) 国土交通省政策評価会 委員
- 2) 地球温暖化防止のための道路政策会議 委員
- 3) 茨城県総合計画審議会 委員
- 4) 茨城県環境審議会 委員
- 5) シーニックバイウェイ北海道のルート審査員会 委員

大澤 義明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 宮川雅至, 大澤義明, 腰塚武志 (2004): 施設の開設・閉鎖に伴う移動距離変化と頑健な規則的配置. オペレーションズ・リサーチ学会和文論文誌, 47, pp.1-24.
- 2) 小林隆史, 大澤義明 (2004): 都市中心地区ランドマークの可視性に関する研究. 日本建築学会計画系論文集, 583, pp.91-98.
- 3) 渋谷敬一, 小林隆史, 大澤義明 (2004): 都市夜景の俯瞰景に関する計量分析 - 函館市を対象として -. 日本都市計画学会第 39 回学術研究発表論文集, pp.187-192.
- 4) 宮川雅至, 大澤義明 (2004): 道路閉塞情報の迂回距離削減効果. 日本都市計画学会第 39 回学術研究発表論文集, pp.793-798
- 5) 大澤義明 (2005): 付加価値税に関する競争・強調モデル (日本建築学会編) 「建築最適化への招待」, 丸善, pp.8-21.

(2) 学会活動

- 1) オペレーションズ・リサーチ学会論文誌編集委員会委員
- 2) オペレーションズ・リサーチ学会機関誌編集委員会委員
- 3) 応用地域学会運営委員
- 4) 応用地域学研究編集委員
- 5) 都市計画学会学術発表会, 日本建築学会計画系論文誌, 地理情報システム学会論文誌, 応用地域学研究, オペレーションズ・リサーチ学会機関誌, Papers in Regional Science の査読

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費「欧州における間接税競争・税調和政策の実態調査」, 基盤研究 B, 研究代表者.
- 2) 鹿島学術振興財団 200 年度研究助成「ゴミ焼却場の立地, 広域化, 景観に関する理論的研究」, 研究代表者.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：地域計量理論

環境科学研究科：立地環境論，環境科学 III

社会工学類：都市計画事例講義及び実習，都市計画マスタープラン策定実習，
都市解析，微積分 I，都市・地域・環境を考える，社会工学特設講義

(2) 役職・各種委員会委員

全学：高大連携委員会副委員長

社会工学系：総務委員会委員長

システム情報工学研究科：カリキュラム委員会委員長

環境科学研究科：就職委員

社会工学類：クラス担任，カリキュラム委員

III. 社会的活動

- 1) 人事院試験専門員
- 2) 茨城県総合計画審議会部会専門委員
- 3) 茨城県環境影響評価審査会委員
- 4) 茨城県スーパー・サイエンス・ハイスクール運営指導委員会委員
- 5) 土浦・つくば間公共交通連携方策検討委員会委員
- 6) 取手市補助金等検討委員会委員長
- 7) 守谷市都市計画審議会副委員長

大村 謙二郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 「店舗の入れ替えからみた地方中心商店街の変容と課題 - 富山市を事例として」共著（杉井勇太、大村謙二郎）『都市計画論文集』No.39-3, 2004.10, pp.31-36.
- 2) 「地方中心市街地における商業業務系空き床の実態からみた空き床指標に関

する研究 - 宇都宮市を事例として - 」共著（小俣元美、大村謙二郎、有田智一）『都市計画論文集』No.39-3, 2004.10, pp.49-54.

- 3) 「市街化調整区域における商業施設に対する土地利用規制制度の実効性に関する研究 - 茨城県つくば市・土浦市を対象として - 」共著（北崎朋希、大村謙二郎）『都市計画論文集』No.39-3,2004.10, pp.79-84.
- 4) 「ドイツ都市計画策定プロセスにおける市民提案活動の実態に関する研究 - デュッセルドルフ市エコトープヘルドを事例として - 」共著（山口美貴、大村謙二郎）『都市計画論文集』No.39-3, 2004.10, pp.295-300.
- 5) “Perceived Living Condition in the Gated Communities in Metro Manila,” K. Tannate, K.Omura, 『都市計画論文集』No.39-3, 2004.10, pp.379-384.
- 6) 大村謙二郎・有田智一 (2005) : 需要縮小時代のドイツにおける都市住宅再生 : 都市改造プログラムを中心に、『都市住宅学』No.49, pp.40-53.

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会評議員
- 2) 日本都市計画学会国際委員会委員
- 3) 都市住宅学会副会長
- 4) 都市住宅学会誌「都市住宅学」編集委員長

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：比較都市計画史特論

環境科学研究科：都市環境計画原論

社会工学類：アメニティ創造のまちづくり実習，土地利用・地区整備計画、現代まちづくりの理論と実践

総合科目：都市・地域・環境を探る

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：社会工学系施設委員

社会工学研究科：社会工学研究科施設委員

環境科学研究科：環境科学研究科論文審査委員

社会工学類：社会工学類運営委員

III. 社会的活動

- 1) 国土審議会調査改革部会専門委員
- 2) 茨城県開発審査会委員
- 3) 茨城県入札監視委員会委員
- 4) 茨城県まちづくり顕彰事業ほう賞審査委員会委員
- 5) つくば市都市計画審議会会長
- 6) 東京都住宅政策審議会委員
- 7) 埼玉県都市計画審議会委員
- 8) 江戸川区都市計画審議会委員
- 9) 板橋区住宅対策審議会会長
- 10) 台湾の成功大学国土研究中心主催の国土計画に関する国際ワークショップに招待を受け、8月30日に「日本の国土計画システムの課題と展望」と題する基調講演を行うとともにパネルディスカッションに参加した。

小場瀬 令二

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) 「超郊外住宅地の逆ミニ開発」小場瀬令二 / 2004年日本建築学会北海道大会、都市計画部門パネルディスカッション資料「都市再生」と住環境政策 pp. 25-27 / 2004.8 / 日本建築学会 都市計画委員会。
- 2) 「超郊外住宅地のサステナビリティ」小場瀬令二 / 三宅醇先生退官記念論文集 / 2004.5 / pp. 159-176 / 三宅醇先生退官記念事業会。
- 3) 「遠隔住宅地の現状と課題 超郊外は未来の田園住宅か、しかしんば屋気楼かー」小場瀬 令二 / 都市住宅学 No46号 / 2004年 Summer / pp. 10-15 / (社)都市住宅学会。

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会 都市計画部会幹事、住宅WG主査

(3) 研究助成など

- 1) 「スリランカにおけるスマトラ沖津波による文化財被害の状況と復興ガイドラインの作成」科学研究費緊急調査 / 代表 人間総合研究科世界遺産専攻 日高健一郎教授 / スリランカ ゴール市、マータラ市の津波被害調査と復興計画の立案作業を行う / 2005.3。

(4) その他

- 1) 日本建築学会関東支部主催「美しくまちをつくる、むらをつくる」コンペで、最優秀賞受賞 / 2004.10。
- 2) ドイツベルリン、ドレスデン、ライプニッツにおける環境共生住宅の調査、およびチェコの世界遺産都市プラハの景観調査を実施 / 2004.4。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市景観特講、居住環境特講、街づくりの思想、その他多数

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 施設委員会 キャンパスリニューアルWG、その他多数

(3) 他大学における講義

- 1) 常磐大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) つくば市都市計画マスタープラン立案委員会委員長
- 2) 茨城県景観審議会委員 その他多数

金澤 雄一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Puripunyanich, V., Myojo, S., and Kanazawa, Y.(2004): "Estimating the maintenance and repair cost in life cycle cost calculation: a case of automobile ownership in the U.S." The Journal of Management Accounting, Japan, Vol.13, No.1, 2004

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) ALLIED SOCIAL SCIENCE ASSOCIATIONS: Philadelphia, PA, January 7-9, 2005 Session: Issues in Demand Analysis, SATOSHI MYOJO, YUICHIRO KANAZAWA, and STEPHEN J. TURNBULL, University of Tsukuba—" Does TCO Account for Consumer Preference for Reliability and Country of Origin in U.S. Automobile Market? "
- 2) International Conference on " Recent Development of Statistical Modeling in Marketing-Latent Variable and Latent Structure Approach- ":The Institute of Statistical Mathematics (ISM), Tokyo, Japan, December 1-2, 2004, Satoshi Myojo (U. of Tsukuba), Yuichiro Kanazawa*(U. of Tsukuba), and Stephen Turnbul(U. of Tsukuba), "Does TCO Account for the U.S. Consumers' Preference for the Automobile with Japanese Name Plates?"
- 3) 統計関連学会連合大会: 岩手県花巻市 富士大学、2004年9月3日(金)~6日(月)" Does TCO account for consumer preference for reliability and country of origin in U.S. automobile market?"

(2) 研究助成など

- 1) 基盤研究(C)(2) 第16510103。研究課題「ランダム係数ロジットモデルを用いたアメリカ自動車需要の推定とマーケティング的考察。」
- 2) 萌芽研究(2) 第14653015。「性格特性 → 内発的動機付け → 継続的学習行動」因果モデルの産業・職種的分析

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：統計学特論 I、統計学特論 II

経営・政策科学研究科：統計学 II、データ解析

社会工学類：データ解析

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：総務委員

システム情報工学研究科：オリエンテーション委員会委員長、就職委員会委員長

社会工学類：JABEE 委員会委員長、就職委員会委員長

(3) 他大学における講義

- 1) 東京大学教養学部広域科学科非常勤講師システム統計学 I

III. 社会的活動

- 1) JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education) 工学 (融合複合・新領域) 関連分野審査委員。

金子 守

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Game Theory and Mutual Misunderstanding, Springer-Verlag (2004), 247 pages.
- 2) Duality in Comparative Statics in Rental Housing Markets with Indivisibilities (with T. Ito and Y.-I Osawa). To appear in Journal of Urban Economics.

(2) 学会活動

- 1) 日本経済学会理事

- 2) Associate Editor for Mathematical Social Sciences
- 3) Associate Editor for Social Choice and Welfare
- 4) Associate Editor for Journal of Public Economic Theory
- 5) Associate Editor for Economic Theory

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：ゲーム理論特論

経営・政策科学研究科：ゲーム理論

社会工学類：微積分学、ゲーム理論、社会経済実習

岸本 一男

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 岸本一男：選挙区と新規参入を考慮した Downs の空間モデル，多目的データバンク年報，No.81(2005), pp.1-12.
- 2) 前田貢一，岸本一男：候補者得票率から政策の空間位置を定める計算法の提案とその計算例，多目的データバンク年報，No.81(2005), pp.13-14.
- 3) 合志昭範，前田貢一，岸本一男：一次元空間的投票モデルから見た我が国国政選挙における対立軸，No.15(2005), pp.15-37.

(2) 学会活動

- 1) 応用数理学会理事（将来計画担当）
- 2) 応用数理学会論文誌編集委員
- 3) Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics 編集委員
- 4) 電子情報通信学会査読委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)「協力支配点集合とその応用」(研究課題番号 15560047)(継続)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：システム数理特論
経営・政策科学研究科：数理ファイナンス
社会工学類：数理解析 1
総合科目 経営の科学

(2) 役職・各種委員会委員

第3学群：第3学群教員会議構成員
システム情報工学研究科：運営委員
社会工学類：運営幹事

(3) 他大学における講義

- 1) 横浜市立大学理学部(非常勤講師)

III. 社会的活動

- 1) 学術会議第18回数学研究連絡委員会委員(幹事)
- 2) 日本アクチュアリー会朋友(2004.09.30まで)
- 3) 横断型基幹科学技術研究団体連合代議員
- 4) 横断型基幹科学技術研究団体連合シンポジウム実行委員(任期：2004.12.02-2005.01.19)

黒田 誼

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Anit N. Mukherjee and Yoshimi Kuroda. “Productivity Growth in Indian Agriculture: Is There Evidence of Convergence among States?,” *Agricultural Economics*, (forthcoming) 共著.
- 2) Romeo G. Teruel and Yoshimi Kuroda “An Empirical Analysis of Productivity in Philippine Agriculture, 1974-2000,” *Asian Economic Journal*, vol. 18, No. 3, pp. 319-344.
- 3) Romeo G. Teruel and Yoshimi Kuroda. “Public Infrastructure and Productivity Growth in Philippine Agriculture,” *Journal of Asian Economics*, (forthcoming) 共著.

(2) 学会活動

- 1) 今年度(2004)も国際農業経済学会の機関誌である *Agricultural Economics* Editorial Advisory Board のメンバーである。
- 2) 今年度(2004)からアジア経済研究所から発行している *Journal of Developing Economies* の編集委員会委員を勤めることになった。

(3) その他

- 1) *American Journal of Agricultural Economics* 及び *Agricultural Economics* それぞれの1本の論文の査読を行った。さらに、*Journal of Developing Economies* の3本の論文の査読を行った。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：計量発展分析特講

経営・政策科学研究科：計量発展分析特論

社会工学類：経済原論、計量発展分析

(2) その他

- 1) 社会工学研究科博士過程指導学生 3 人

(3) その他の活動

- 1) 本 (2004) 年度も PECC(Pacific Economic Cooperation Conference-太平洋経済協力会議) 日本委員会の食料・農業委員会のメンバーとして春に行われる年次会議に出席した。

香田 正人

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) N. Sano, H. Suzuki, and M. Koda, “A robust boosting method for mislabeled data,” J. Operations Research Society of Japan, vol. 47, pp. 182-196, 2004.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) F. Domenach and M. Koda, “Discovering Association Rules using Lattice Theory,” 6th World Bernoulli Congress, Barcelona, July 15, 2004.
- 2) 鈴木伸彦、香田正人、One-Class Classification とその応用、日本OR学会 2004 年秋季研究発表会、アブストラクト集、pp. 48-49, 2004 年 9 月 8 日 .
- 3) 香田正人、他、顧客情報の活用実態と課題 (データマイニングの適用を含めて)、日本ダイレクトマーケティング学会第三回全国研究発表大会、報告要旨、pp. 9-11、2004 年 9 月 11 日 .
- 4) H. Okano and M. koda, “Function Minimization by Noise,” Department of Petroleum Engineering, Stanford University, March 8, 2005.
- 5) 鈴木伸彦、香田正人、Domain Description based on Reliability Learning、日本OR学会 2005 年春季研究発表会、アブストラクト集、pp. 242-243, 2005 年 3 月 17 日 .

iii) その他

- 1) 香田正人、顧客情報の活用実態と課題(データマイニングの適用を含めて)、日本ダイレクトマーケティング学会 NEWS LETTER 特別号、pp. 6-11、2004年12月.
- 2) 香田正人(主査)データベースマーケティング研究部会、顧客情報の活用実態と課題(データマイニングの適用を含めて)、日本ダイレクトマーケティング学会自主研究プロジェクト報告書、178p、2004年12月.

(2) 学会活動

- 1) 日本ダイレクトマーケティング学会常任理事、DBM 研究部会長
- 2) 日本OR学会 IAOR 編集委員会委員長
- 3) 編集委員 (Contributing Editor), International Abstracts in OR, IFORS
- 4) 編集委員 (Associate Editor), Journal of Information and Communication Technology, Universiti Utara Malaysia
- 5) 日本ダイレクトマーケティング学会自主研究プロジェクト主査:「顧客情報の活用実態と課題(データマイニングの適用を含めて)」

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費基盤研究(C)(2): データマイニングモデルの統合とCRMビジネスモデルのプロトタイピング

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: データマイニング工学特論

経営・政策科学研究科: プロジェクト・マネジメント - 理論と実践

社会工学類: 微分積分学、経営工学実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系: 運営委員

経営・政策科学研究科: 運営委員

腰塚 武志

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 鈴木勉, 腰塚武志: 交通路の存在する都市空間における距離・時間分布, 日本応用数学会論文誌, vol.14, No.2, pp.99-116, 2004.
- 2) 宮川雅至, 大澤義明, 腰塚武志: 施設の開設・閉鎖に伴う移動距離変化と頑健な規則的配置, オペレーションズ・リサーチ学会論文誌, 第47巻, pp.1-24, 2004.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 中川享規, 腰塚武志: 街区の面積分布, 2004年度建築学会大会学術講演梗概集-都市計画・建築経済・住宅問題, pp.467-468, 2004.
- 2) 宮川雅至, 腰塚武志, 大澤義明: 放射環状道路網における迂回距離分布, 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, pp.98-99, 2004.
- 3) 腰塚武志: 移動から見た空間の分析, 日本オペレーションズ・リサーチ学会第53回シンポジウム 都市のOR, pp.84-102, 2005.3
- 4) 中川享規, 腰塚武志: 所要時間分布からみた駅の利便性に関する考察, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.160-161, 2005.3.
- 5) 宮川雅至, 腰塚武志, 大澤義明: 施設閉鎖情報の移動距離削減効果, 日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会アブストラクト集, pp.164-165, 2005.3.

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会副会長
- 2) 形の科学会運営委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費 基盤研究(B)(2)「移動時間分布と通過量分布による都市空間の分析」(研究代表者)

- 2) 文部省科学研究費 基盤研究 (B)(1)「都市の交通および施設配置に関する総合的研究」(研究分担者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市解析学特論

(2) 役職・各種委員会委員

全学：理事・副学長

III. 社会的活動

- 1) 計量計画研究所評議員
- 2) 国際科学振興財団理事
- 3) つくばWAN推進会議委員
- 4) 研究学園都市コミュニティーケーブルサービス評議員
- 5) 旭硝子財団選考委員
- 6) 土浦一高等学校評議員
- 7) 統計情報研究開発センター「GISプロジェクト研究会」委員

佐藤 亮

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Ryo Sato: Discrete-Event Semantics for Tools for Business Process Modeling in Web-Service Era, Tag Gon Kim (Eds.), Artificial Intelligence and Simulation: 13th International Conference on AI, Simulation, Planning in High Autonomy Systems - AIS 2004, Lecture Notes in Computer Science, vol. 3397, pp 635-644, Springer, 2005.

- 2) 川西亜矢子, 佐藤亮, 住田潮, ”情報流コントロールによる 3PL の効率化,” 経営情報学会 2004 秋季全国研究発表大会予稿集, pp.367-370, 2004.

(2) 学会活動

- 1) 経営情報学会誌編集委員
- 2) (社)計測自動制御学会システム情報部門システム工学部会運営委員
- 3) AESCS 2005(The Fourth International Workshop on Agent-based Approaches in Economic and Social Complex Systems) プログラム委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報システム特論

経営・政策科学研究科：情報システム論

社会工学類：経営工学概論、経営情報システム、経営情報システム演習、社会基盤と情報・ロジスティクス産業

(2) 役職・各種委員会委員

全学：学群学類連絡会、学術情報処理センター運営委員

社会工学類：社会工学類長、第3学群運営委員

(3) 他大学における講義

- 1) 横浜国立大学現代 GP 「経営学 e ラーニングの開発と実践 - ゲーミング メソッドを基盤として - 」評価委員 (ERP グループ)

III. 社会的活動

- 1) SAP ジャパン Higher Learning Initiative 委員
- 2) 文部科学省大学設置審議会委員 (16 年度)

庄司 功

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Yang, Y. and Shoji, I., (2004), Optimal dividend policy of life insurance company under quasi-hyperbolic discounting, Proceedings of the 8th World Multi-Conference on Systemics, Cybernetics and Informatics, 224-229.
- 2) Shoji, I. (2004), Estimation of diffusion coefficients with a nonparametric drift function, 2004 年度統計関連学会連合大会, 富士大学.
- 3) Shoji, I. (2004), Nonparametric estimation of diffusion coefficients from discretely observed data, 2004 SRCCS Probability Workshop, Seoul National University.

(2) 学会活動

- 1) Editorial Board, Advances and Applications in Statistics

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：計量時系列解析特論

経営・政策科学研究科：金融時系列解析

社会工学類：統計学，計量時系列分析

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：予算委員

社会工学類：カリキュラム委員

住田 潮

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “リアル・オプション・アプローチに基づくプロジェクト最適投資戦略の構造解析,” (伊勢恒久と共著), Journal of the Japanese Association of Real Estate Financial Engineering, Vol. 1.
- 2) “Development of Parametric Simulation Models for Structural Analysis of Voting Behavior in Public Referendum,” (with M. Ohe and N. Igaki) Working Paper Series No.1112.
- 3) 6月25日 関西学院大学政策科学研究科 講演“21世紀の日本の課題”
- 4) 3月8日 筑波大学 Workshop on Strategies for Competitive Techno-parks Session Chair: Global Competitiveness of Small- and Medium-Sized Corporations in Japan and Strategic Support for Them 講演 Comparative Analysis of Technology Business Incubators between Japan and the United States.
- 5) 3月22日 Henry W. Bloch School of Business and Public Administration University of Missouri-Kansas City, UAS 講演“Comparative Analysis of Technology Business Incubators between the United States and Japan”
- 6) 3月24日 David Eccles School of Business, University of Utah, USA 講演“Optimal Threshold Analysis of Segmentation Methods for Identifying Target Customers”
- 7) 3月28日 Industrial Engineering and Operations Research University of California, Berkeley, USA 講演“Optimal Threshold Analysis of Segmentation Methods for Identifying Target Customers.”

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 機関紙編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 受託研究:「信用リスク制御に関する問題解法及びOUPプロセス吸収壁問題数値解法の開発」(山本芳嗣教授、後藤順哉講師と共同)
- 2) みずほ第1ファイナンシャル・テクノロジー株式会社
- 3) JICA 留学生指導研究資金

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：応用確率過程特論

経営・政策科学研究科：e - ビジネス，ビジネス戦略

社会工学類：確率システム解析，社会基盤と情報ロジスティクス産業（2人で共同担当），Introduction to Management Science and Engineering

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：将来構想委員会 メンバー

システム情報工学研究科：論文審査委員会 メンバー

経営・政策科学研究科：カリキュラム委員長，運営委員会メンバー

(3) 他大学における講義

- 1) 国際基督教大学フランス・プログラム集中講義

III. 社会的活動

- 1) OECD Tri-Logistics Research Project アジア研究部会・委員
- 2) 道路経済研究所 ロジスティクス研究部会・メンバー

IV. 講演・視察活動：

- 1) 4月6日（株）トーハン・ロジスティクス、NTTロジスティコ 物流戦略視察
- 2) 4月15日（株）コーセル 中小企業の技術戦略視察
- 3) 5月24日（株）山之内製薬部研修プログラム講演「企業倫理を巡る現在の課題」
- 4) 6月28-29日（株）デンソー - 幹部研修プログラム講演“企業経営とファイナンス”
- 5) 7月1-3日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 6) 7月5-7日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 7) 7月15-16日（株）豊田通商 次世代経営者コース講演“企業経営とファイナンス”

- 8) 7月 20-22日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 9) 7月 23-24日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 10) 7月 27-28日 (株) 富士通AMD 日米合弁企業の技術戦略視察
- 11) 8月 19-21日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 12) 8月 26-28日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース 主任講師
- 13) 9月 3-4日 (株) 豊田通商 次世代経営者コース講演“ 中国を中心とする国際戦略と異文化マネジメント ”
- 14) 9月 9-11日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース 主任講師
- 15) 9月 17-18日 (株) 豊田通商 次世代経営者コース講演“ 企業経営とファイナンス“
- 16) 9月 23-25日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 17) 10月 7-9日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 18) 10月 20-21日 (株) 豊田通商 部長研修プログラム講演“ 中国を中心とする国際戦略と異文化マネジメント ”
- 19) 10月 24-25日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 20) 10月 28-29日 日本能率協会主催 プロフェッショナル・ビジネス・リーダー・コース主任講師
- 21) 11月 24-26日 海外技術者研修協会 ネパール・IT 研修プログラム主任講師
- 22) 11月 29-30日 海外技術者研修協会 ネパール・IT 研修プログラム主任講師
- 23) 12月 6-7日 海外技術者研修協会 ネパール・IT 研修プログラム主任講師
- 24) 12月 25日 (株) 三菱レーヨン幹部 グループ企業社長研修プログラム講演 “ 大競争時代における Compliance 経営 ”
- 25) 3月 12-15日 ベトナム ハノイ 視察日本企業のベトナム進出

高木 英明

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) J. H. Siregar, H. Takagi, and Y. Zhang, "Optimal Multicast Routing Using Genetic Algorithm for WDM Optical Networks," IEICE Transactions on Communications, Vol.E88-B, No.1, pp.219-226, January 2005.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) J. H. Siregar, Y. Zhang, and H. Takagi, "Optimal Placement of Split-capable Nodes for Optical Multicast Routing in WDM Networks" (波長分割多重光通信網における分岐装置の配置方式), Technical Report of IEICE (信学技報), NS2004-150, TM2004-53, pp.25-30, 神奈川県大船市, 2004年11月18日, 電子情報通信学会ネットワークシステム研究会.
- 2) S.-Y. Kim and H. Takagi, "Dynamic Control of the Address Binding Update for Mobile Nodes in a Hierarchical Mobile IP Network," 待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」報文集, pp.166-176, 名古屋市港区, 邦和セミナーハウス, 2005年1月17-19日.
- 3) M. Ohmikawa, H. Takagi, and S.-Y. Kim, "Optimal Call Admission Control for Voice Traffic in Cellular Mobile Communication Networks," Discussion Paper No.1095, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, September 2004.

(2) 学会活動

- 1) 学術論文誌 Performance Evaluation (Elsevier) 編集委員
- 2) 学術論文誌 Queueing Systems (Balzer) 編集委員
- 3) プロジェクトマネジメント学会 (任意団体) 特任理事
- 4) 国際科学振興財団編、科学大辞典 第2版 丸善株式会社 編集顧問

(3) 研究助成など

- 1) モバイルITフォーラム, IMT-2000の高度化及びその後継システムにおける所要周波数帯域幅の算定, 一般受託研究 ACA16104, 2,600千円(うち間

接経費 600 千円)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報基礎数理特論

経営・政策科学研究科：ビジネス情報数理演習

社会工学類：微積分 I, 応用確率過程

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 産学リエゾン共同研究センター運営委員
- 2) ILC プロジェクト審査委員会委員
- 3) 社会工学類入試実施委員会副委員長

(3) その他

- 1) 筑波大学附属駒場高等学校スーパーサイエンスハイスクール事業 「数学特別講座」講師

III. 社会的活動

- 1) 特定非営利活動法人つむぎつくば代表
- 2) 筑波大学産学連携会（任意団体）会長補佐，理事
- 3) つくば市 つくばウェルネスシティ推進懇話会委員
- 4) いばらきベンチャー企業育成投資事業有限責任組合投資評価委員会委員
- 5) セキュアな電子政府を推進する会 会員
- 6) 新聞報道 2004 年 7 月 28 日，トップに聞く「『知的体育会系』目指す」，朝日新聞
- 7) 新聞報道 2004 年 11 月 30 日，利根往来「NPO はアンテナショップ」，日本経済新聞
- 8) 主催者挨拶『情報セキュリティセミナー』～個人情報漏洩のリスク対策と情報セキュリティ～，つくば研究支援センター，2005 年 1 月 28 日.

土井 正幸

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “ Assessing Impact of ITS on Japanese Economy Using a Computable General Equilibrium Model ”, 2004, in E. Bekiaris and Y.J. Nakanishi (eds.), Economic Impacts of Intelligent Transportation Systems: Innovations and Case Studies, Elsevier Science Publishers, pp.525-547.(著書)
- 2) “ Port Capital Formation and Economic Development in Japan: A Vector Autoregression Approach, ” 2004, Papers in Regional Science, Vol.83, No.4, pp.723-732. (論文)

ii) その他

- 1) 「日本の交通部門における排出ガス削減のCGE分析」、日本交通政策研究会、日交研シリーズA-364、pp.1-21、2004年10月.
- 2) 「販売輸送費は誰が負担すべきか？ - 実態と空間価格理論寸考 - 」、日本交通政策研究会、日交研シリーズB-109、pp.1-23、2004年5月.

(2) 学会活動

- 1) Managing Editor, Review of Urban and Regional Development Studies
- 2) Editor, Journal of Applied Input-Output Analysis
- 3) 応用地域学会運営委員
- 4) 環太平洋産業連関分析学会運営委員
- 5) 日本交通学会評議員、学会賞審査委員
- 6) 日本港湾経済学会評議員
- 7) 日本海運経済学会評議員

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費基盤研究(B) (2)、研究代表者
- 2) 筑波大学学内プロジェクト助成研究(A)、研究代表者

(4) その他

- 1) 土井正幸編著『港湾と地域の経済学』(2003年11月、多賀出版)に対して日本港湾協会賞受賞、2004年5月26日。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：交通経済学特論

経営・政策科学研究科：地域経済学，交通経済政策論

社会工学類：地域と地域間の経済学，空間と交通の経済学，都市構造論，都市地域経済学演習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：社会システム工学専攻運営委員

社会工学類：社会工学類予算委員長

(3) 他大学における講義

- 1) 流通経済大学非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 茨城県港湾審議会委員
- 2) 国際協力機構(JICA)支援委員会委員
- 3) 国土交通省、茨城県等、各種調査・研究委員会の委員

中村 豊

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Nakamura, Yutaka: Trichotomous preferences for gambles. Journal of Mathematical Psychology 48, 385-398.

(2) 学会活動

- 1) A member of Editorial Board of Journal of Mathematical Psychology
- 2) 日本経済学会 2004 年度春季大会で指定討論（明治学院大学）
- 3) Journal of Mathematical Psychology のレフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費（萌芽研究）『満足化原理にもとづく限定合理的意思決定の公理的基礎とその応用に関する研究』

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：ミクロ経済学特論
経営・政策科学研究科：意思決定分析、数学
社会工学類：意思決定論、社会経済実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：中間評価委員会委員長, カリキュラムタスクフォース委員
経営・政策科学研究科：入試実施委員長
社会工学類：予算委員

橋本 昭洋

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Hashimoto, A. and Wu, D.-A., A DEA- compromise programming model for comprehensive ranking. Journal of the Operations Research Society of Japan 47(2), 73-81, 2004.
- 2) 橋本昭洋, 企業評価革命, DEA 手法の衝撃. 東洋経済統計月報 64(7), 20-23, 2004.

- 3) 橋本昭洋, DEA 手法による都道府県評価. 東洋経済統計月報 64(10), 20-27, 2004.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー Review of Urban & Regional Development Studies

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：システム評価特論

経営・政策科学研究科：システム評価決定論，数理計画実習

社会工学類：評価と決定

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：社工人事懇談会運営委員

経営・政策科学研究科：運営委員

社会工学類：広報委員

藤井 英次

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “ Intra and Inter-Regional Causal Linkages of Emerging Stock Markets: Evidence from Asia and Latin America in and out of Crises ” Journal of International Financial Markets, Institutions & Money, forthcoming
- 2) “ Exchange rate Pass-through in the Deflationary Japan: How Effective is the Yen ’s Depreciation for Fighting Deflation? ” Economic Stagnation and Recovery in Japan: Financial, Banking and International Dimensions edited by Michael Hutchison and Frank Westermann, MIT Press, forthcoming
- 3) “ Chinese Economies in Global Context: The Integration Process and Its Determinants ” (with Yin-Wong Cheung and Menzie Chinn) Journal of the Japanese and International Economies, forthcoming

- 4) “ Dimensions of Financial Integration in Greater China: Money Markets, Banks and Policy Effects ” (with Yin-Wong Cheung and Menzie Chinn) International Journal of Finance & Economics, forthcoming

ii) その他

- 1) “ Exchange Rate Pass-Through and Inflation Environment in Industrialized Countries: An Empirical Investigation ” (with Jeannine Bailliu), Bank of Canada Working Paper Series 2004-21, 2004.
- 2) “ Cross-Country Relative Price Volatility: Effects of Market Structure ” (with Yin-Wong Cheung), Department of Economics, University of California, Santa Cruz, September 2004.

iii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) “ Exchange Rate Pass-Through and Inflation Environment in Industrialized Countries: An Empirical Investigation ”, Research Department, Reserve Bank of Australia (オーストラリア・リザーブ銀行調査課招待セミナー), Sydney, Australia, September 2004
- 2) Comments on “Nominal Prices and Risk Sharing” (G. Hess and K.H. Shin), at the COE international conference: “ Between Market and State in the Global Economy ”, University of Tokyo, March 2005.

(2) 学会活動

- 1) レフリー： Asian Economic Journal, Journal of International Economics, Journal of International Financial Markets, Institutions & Money, Review of International Economics, Journal of Macroeconomics

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：国際金融論

経営・政策科学研究科：国際貿易

社会工学類：国際貿易、グローバルシステム演習、社会工学実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：施設委員

システム情報工学研究科：中間評価委員、施設委員

経営・政策科学研究科：コース担当委員

社会工学類：総合科目編成委員、4年次クラス担任、第三学群教員会議構成員

III. 社会的活動

- 1) Visiting Fellow, The Australian National University, Canberra, Australia, July-November 2004. (オーストラリア国立大学客員フェロー)

藤原 良叔

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) R. Fuji-Hara, Y. Miao and M. Mishima, Optimal Frequency Hopping Sequences: A Combinatorial Approach, IEEE transactions on Information Theory, Vol.50, No.10, October (2004), 2408-2420

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Covering Arrays of Strength Three and A Double Arc Problem, 2004年組合せ理論とその応用 NZIMA 会議, ニュージーランド, レイクタポ, 2004年12月13日 - 18日

(2) 学会活動

- 1) Foundation Fellow : Institute of Combinatorics and its Applications
2) Editorial Board : Journal of Combinatorial Mathematics and Combinatorial Computing, Winnipeg Canada
3) Council member : Institute of Combinatorics and its Applications
4) レフリーイング (IEEE IT, JSPI, 応用数理 その他),
5) AMS レビューイング (3-4件)

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助(基盤B展開研究)(2)「デリバティブ価格計算のための超一様分布列の構成に関する研究」
- 2) 科学研究費補助(基盤C展開研究)(2)「ソフトウェア・テストに用いる検査計画の構成に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報離散数学特講

経営・政策科学研究科：情報離散数学特講

社会工学類：経営工学情報処理実習，シミュレーション，総合演習-社会システム分析

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：社会システム工学専攻運営委員

社会工学類：社会工学類カリキュラム委員，社会工学類コンピュータ委員長

(3) 他大学における講義

- 1) 非常勤講師 日本大学生産工学部

古川 俊一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “ What Sustains Behavior Geared To NPM Environment in the Workplace? A Critical Analysis of the Incentive Mechanism in the Case of Japan’s Local Government, ” in Goygy Jenei, Kate McLaughlin, Karoly Mike, and Stephen P. Osborne, Challenges of Public Management Reforms: Theoretical Perspectives and Recommendations. Budapest, Hungary: Budapest University of Economic Sciences and Public Administration, 2004, pp. 167-192. (論文)

- 2) 古川俊一・北大路信郷『新版 公共部門評価の理論と実際—政府から非営利組織まで—』日本加除出版, 2004年 pp.i-iii, 1-167, 327-341, 350-353 . (著書)
- 3) 塚本一郎・古川俊一・雨宮孝子編著『NPOと新しい社会デザイン』同文館, 2004年, (3)~(4), pp152-169 . (著書)

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 「政策プロセスのパラダイムシフト—土木計画学は何をなしてきたか、これからどうあるべきか」パネリスト, 土木学会土木計画学発表会, 神戸大学, 2004年6月5日
- 2) “What Sustains Behavior Geared To NPM Environment in the Workplace? A Critical Analysis of the Incentive Mechanism in the Case of Japan’s Local Government,” 日本評価学会第1回春季大会, 東京工大, 2004年6月12日
- 3) ”E-governance: administrative structures and processes,” Rapporteur’s report for Workshop II presented at the 26th International Congress of the International Institute of Administrative Sciences, July 14-18, 2004, Seoul, Korea.
- 4) Conclusions of Workshop II presented at the 26th International Congress of the International Institute of Administrative Sciences, July 18, 2004, Seoul, Korea.
- 5) 「NPM レジームにおける誘因構造: 自治体の最優良事例の批判的分析」日本計画行政学会第27回全国大会, 2004年9月18-19日慶應義塾大学湘南キャンパス
- 6) “From E-governance to I-Governance: Old and New Perspectives for ICTs and Government,” A Paper presented to Session-3: E-Government and Government Productivity, the International Seminar Indonesia: Challenges in the 21st Century, Civil Society, Administrative Culture and Governance Issues, September 28-29, 2004, Jakarta, Indonesia.
- 7) 「ガバナンスにより変容を遂げる計画行政と経営 評価と参加の影響と展望 - 」新公共経営・政策評価フォーラム第3回シンポジウム, 2004年11月27日, コクヨホール, 東京都品川 .
- 8) 「地方自治体における評価の波及と生成過程の分析」(森川はるみと共著), 日本評価学会第4回秋季大会, 立教大学, 2004年12月4日
- 9) 「道路行政マネジメント概念登場の意義と経営課題」共通論題セッションII 「地域に根付いた道路行政マネジメントと評価」日本評価学会第4回秋季大会, 立教大学, 2004年12月4日
- 10) 共通論題セッションIII 「自治体における行政評価とそのマネジメント」司

会，日本評価学会第4回秋季大会，立教大学，2004年12月4日

iii) その他

- 1) 「道路行政マネジメントの意味とその課題」『道路』2004年4月号, pp4-5 .
- 2) 「道路行政マネジメント概念登場の意義と経営課題」『建設オピニオン』2004年8月号, pp8-12 .
- 3) 「成果志向行政への転換と実行上の課題」『自治フォーラム』2004年10月号, pp19 - 24 .
- 4) 「電子政府から電子統治へー世界の事例からみる可能性と課題」『公営企業』2004年10月号, pp2-16 .
- 5) 「新公共経営・政策評価フォーラム第3回シンポジウムパネルディスカッション」『S R I』78号，静岡総合研究機構，2004年11月, pp6-38 .
- 6) 「首都圏における広域行政と組織運営のありかた」『都政研究』2004年12月号, pp4-9 .
- 7) 「精神論的経営から戦略的人材育成と公共経営へ」『公務研修』197号，2005年1月, pp99-110 .
- 8) 「公共組織の経営と統治 新しい社会デザイン」特集「これからの10年を考えるための『100冊の本』」『NIRA 政策研究』2005年1月号, pp88-89 .
- 9) 「ガバナンスにより変容を遂げる計画行政と経営 評価と参加の影響と展望 - 」『行政管理研究』109号, 2005年3月, pp55-72 .
- 10) 「道路行政マネジメント概念登場の意義と経営課題」『道路建設』2005年3月号, pp9-11 .
- 11) 「電子政府と都市自治体 世界の事例から将来を展望する 」『都市とガバナンス』第6号，2005年3月, pp1-7 .
- 12) 「評価の政策形成と経営への活用と課題 基本へ還れ」『マッセ OSAKA 研究紀要』第8号, 財団法人 大阪府市町村振興協会，2005年3月, pp13-24 .
- 13) 『「富国有徳」推進研究会報告書』，静岡県，2005年1月, p33. (報告書)

(2) 学会活動

- 1) 国際行政学会 (International Institute of Administrative Sciences, IIAS, 第26回総会, Rapporteur: 企画委員兼分科会座長), 日本行政学会 (レフェリー), 日本政治学会, 日本計画行政学会, 日本地方財政学会, 国際公会計学会, 日本公共政策学会 (レフェリー), 地方自治経営学会 (理事), 日本NPO学会, 日本評価学会 (副会長, 理事, 学会誌編集委員会副委員長), 日本比較政治学会, 日本地域政策学会, 政策分析ネットワーク (レフェリー), Chinese

Society of Public Administration 学会誌編集委員 .

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費「財政調整制度の国際比較研究」分担者
- 2) 科学研究費「財政改革における行政サービス供給方式の多様化に関する国際比較研究」分担者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：比較行政システム特論
経営・政策科学研究科：行政学，公共政策評価論
社会工学類：地方行財政論，社会システム論，東京の都市学

(2) 役職・各種委員会委員

全学：全学入試実施委員会委員
経営・政策科学研究科：経営・政策科学研究科運営委員
社会工学類：社会工学類入試実施委員会委員長

(3) 他大学における講義

- 1) 政策研究大学院大学客員教授（論文指導，政策評価論），拓殖大学大学院国際協力開発研究科非常勤講師（業績評価論），明治大学経営学部非常勤講師（行政経営論）

III. 社会的活動

- 1) 国土交通省道路行政マネジメント研究会委員長
- 2) 同省新道路技術会議委員
- 3) 同省港湾局スーパー中枢港湾選定委員会 港湾の管理・運営のありかたに関する検討部会委員
- 4) 環境省政策評価手法検討部会委員
- 5) 地方公務員災害補償基金運営審議会委員
- 6) 国際協力機構外部有識者委員会委員
- 7) 沖縄振興開発金融公庫政策金融評価業務検討委員会委員

- 8) 大学評価・学位授与機構大学評価委員会評価員
- 9) 静岡県「富国有徳」推進研究会座長
- 10) 茨城県「公共事業再評価委員会」委員
- 11) 横須賀市「まちづくり評価委員会」委員及び都市政策研究所専門委員
- 12) 財団法人 自治総合センター「行政評価システムに関する委員会」委員
- 13) 財団法人 日本都市センター研究アドバイザー
- 14) 総務省自治大学校講師（政策評価，監査委員事務局職員，第1部）
- 15) 文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター研修講師（行政評価）
- 16) 国土交通省国土交通大学校講師
- 17) 国際協力事業団地方行政コース集団研修講師

星野 靖雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 航空産業における企業の合併と提携に関する研究、経営行動科学、Vol.17 No.2, pp.139-148,2004, (中橋亮樹と共著)
- 2) Growth and Ownership: Evidence from foreign manufacturing affiliates in Japan, with Lailani L. Alcantra, Japanese Journal of Administrative Science, Vol.18 No.3 pp.211-222, 2005
- 3) The Impact of Ownership, Internalization, and Entry Mode on Japanese Subsidiaries' Performance in Brazil with Mario Henrique Ogasavara, Article in Press, Japan and the World Economy
- 4) Influence of Location Factors on Establishment and Ownership of Foreign Investments: the Case of the Japanese Manufacturing Firms in Europe, with Ilian Somlev, International Business Review 4, pp.577-598, 2005

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Multinational Ownership and Firm Growth: Evidence from Foreign Affiliates in Japan, 2004 Hawaii International Conference on Business June 21-24, Honolulu Hawaii (with Lailani L. Alcantra)

- 2) Multinational Ownership and Firm Growth: Evidence from Foreign Affiliates in Japan, EWC/EWCA 2004 Tokyo International Conference, August 2-4, 2004 Tokyo, (with Lailani I. Alcantra)
- 3) Changing Value of Lifetime Employment for the Company, EWC/EWCA 2004 Tokyo International Conference, August 2-4, 2004 Tokyo, (with Hamid Hassan)
- 4) Ownership, Internationalization, Entry mode and Performance of Japanese Subsidiaries in Brazil, EWC/EWCA 2004 Tokyo International Conference, August 2-4, 2004 Tokyo, (with Mario Henrique Ogasavara)
- 5) Implication of Firm Experiential Knowledge and Sequential Investment on Japanese Subsidiaries' Performance in Brazil, The 13th Pacific Basin Finance, Economics and Accounting, June 10-11 2005, Rutgers University NJ (with Mario Henrique Ogasavara)

iii) インタビュー記事

- 1) “The Japanese Economy” 編集長 佐藤和夫教授、経営行動科学, 第 17 巻第 3 号, pp.197-199.
- 2) “Journal of Financial and Quantitative Analysis” 編集長 Paul Malatesta 教授 経営行動科学, 第 18 巻第 1 号、pp.65-70
- 3) 本誌特別編集委員 霍見芳浩、高田博和教授とのインタビュー、経営行動科学, 第 18 巻第 2 号、pp.157-174

(2) 学会活動

- 1) 経営行動科学学会副会長
- 2) 経営行動科学学会研究担当理事 兼「経営行動科学」編集委員長
- 3) Journal of Financial Management and Analysis: International Review of Finance, Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies の編集委員会の委員として編集活動にあたった。
- 4) 同上誌および Review of Quantitative Accounting and Finance 等の査読を行った。
- 5) The 13th Pacific Basin Finance, Economics and Accounting Conference 実行委員
- 6) 日本経済学会連合評議員

(3) 研究助成など

- 1) 平成16年度 科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））「国際的企業合併、買収、撤退、合併、完全子会社の業績についての実証研究」を実施した。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：経営管理特論

経営・政策科学研究科：経営管理論

社会工学類：経営管理論

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：社会工学類防災委員長、社会工学類学生担当教員

(3) 他大学における講義

- 1) 東京家政学院筑波女子大学国際学部国際ビジネス論・短期大学部経営学総論担当非常勤講師
- 2) 名古屋外国語大学国際経営学部国際経営戦略論担当非常勤講師

松田 紀之

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Rosa, E. A. & Matsuda, N. (2005). Risk perceptions in the risk society: The cognitive architecture of risk of Japanese and Americans. In Y. Murakami, N. Kawamura and S. Chiba (eds.) Toward a peaceable Future. Pullman, WA: Washington State University. (著書)

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Hiraga, R. & Matsuda, N. (2004). Assisting Listeners' Appreciation with Performance Visualization. A paper (# 63) accepted by The 2004 Advanced Visual Interfaces (AVI 2004). May. Gallipoli, Italy.

- 2) Hiraga, R. & Matsuda, N. (2004). A graphical expression of the mood of music. A paper (P90916) accepted by The 2004 IEEE International Conference on Multimedia and Expo (ICME'2004). June. Taipei, Taiwan.

(2) 研究助成など

受託研究：消費者の無糖茶評価 / 購入決定支援システムの開発 - - サントリー (株)

システム情報工学研究科重点配分：知的公共資源としての専門誌発注方式開発

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：行動科学特論

経営・政策科学研究科：心理情報分析，MBA 演習 I

社会工学類：情報行動分析

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：計量ファイナンス・マネジメント専攻長

焼田 党

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) “Elasticity of substitution in public capital formation and economic growth,” *Journal of Macroeconomics* 26, 391-408.
- 2) “School loans, subsidies, and economic growth,” *FinanzArchiv* 60, 262-276.

ii) その他

- 1) “Preference for children, population growth and pay-as-you-go social security,” *CUIE Discussion Paper* 0402.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー：Journal of Population Economics, Review of Urban & Regional Studies

(3) 研究助成など

- 1) 財団法人簡易保険文化財団「個人の教育選択と教育費調達および経済発展への影響」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：マクロ経済学特論
経営・政策科学研究科：マクロ経済学
社会工学類：ミクロ経済学、公共経済学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：運営委員
社会工学類：学生委員、クラス担任（4/1）

(3) その他

- 1) 北海道大学大学院経済学研究科 学位論文審査委員

山本 芳嗣

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) G.Z. Ruan, S.Y. Wang, Y. Yamamoto and S.S. Zhu, “Optimality condition and geometric properties of a linear multilevel programming problem with dominated objective functions,” Journal of Optimization Theory and Applications 123 (2004) 2, 409-429.

- 2) A.J.J.Talman and Y.Yamamoto, "Continuum of zero points of a mapping on a compact, convex set," SIAM J. Optimization, 14 (2004) 4, 1128-1139.
- 3) N.V. Thoai, Y. Yamamoto and A.Yoshise, "Global optimization method for solving mathematical programs with linear complementarity constraints," Journal of Optimization Theory and Applications 124 (2005) 467-490.

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金（基盤研究(B)(2)）「制御不能な部分システムを含む最適化問題」研究代表者
- 2) みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社「時系列モデルに対する構造的数値解法の開発」に関する研究助成

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：数理計画特論 1、数理計画特論 2

経営・政策科学研究科：数学 2、数理計画

社会工学類：経営工学概論、社会工学概論実習、計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：社会システム工学専攻長、就職委員長

横張 真

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 雨宮 護, 横張 真: 住宅地に立地する小公園に対する地域住民の犯罪リスク認知の構造と要因, 日本造園学会誌, 68 巻 5 号, 947~950, 2005
- 2) 槇 賢志, 横張 真, 渡辺貴史, 雨宮 護: 東京都特別区における未利用地活用型オープンスペースの空間的特徴と周辺環境との関係, 日本造園学会誌, 68 巻 5 号, 867~870, 2005

- 3) Matsuura, T, M. Yokohari and A. Azuma: Identification of potential habitats of gray-faced buzzard in Yatsu landscapes by using digital elevation model and digitized vegetation data, Landscape and Urban Planning, 70 卷, 3/4 号, 231 ~ 244, 2004
- 4) Amemiya, M, and M. Yokohari: Identifying the problems associated with crime prevention in parks and measures for their solution in Japan, International Federation of Park & Recreation Administration, The 20th world congress in Hamamatsu proceedings, 71 ~ 74, 2004
- 5) Amati, M. and M. Yokohari: Ensuring the separation of the countryside and city: the role of an elite in the planning of the London Green Belt, The Making of European Contemporary Cities: an Environmental History University of Siena, 58 ~ 65, 2004
- 6) Amati, M. and M. Yokohari: The actions of landowner, government and planners in establishing the London green belt of the 1930s, Planning History, 24 卷, 1/2 号, 4 ~ 12, 2004

(2) 学会活動

- 1) 日本造園学会・理事・総務委員会委員
- 2) 農村計画学会・理事・学術委員会委員長
- 3) 国際景観生態学会日本支部・幹事
- 4) 国際造園学会日本支部・理事
- 5) Editorial board member of Landscape and Urban Planning Journal (Elsevier)
- 6) Editorial board member of Landscape Research (Carfax Publishing)
- 7) Editorial board member of landscape and Ecological Engineering (Springer)

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費：基盤研究 B(2) 15380020 (研究代表者)「都市近郊における農地・里山を内包した小規模物質循環システムに関する研究」
- 2) (独)農業工学研究所受託研究「都市 - 農村対流にともなう水田ビオトープの整備と維持管理」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：緑地環境計画特講

環境科学研究科：緑地環境計画論

社会工学類：都市環境保全計画，現代都市環境論，土地利用・地区整備計画，都市計画実習

総合科目：都市・地域・環境を探る，森林

(2) 役職・各種委員会委員

全学：JTP（短期交換留学プログラム）委員

システム情報工学研究科：入試実施委員

環境科学研究科：カリキュラム委員

社会工学類：就職委員（委員長）

(3) 他大学における講義

- 1) 非常勤講師（東京大学農学部）
- 2) 客員教授（University of Guelph, Canada）
- 3) 客員教授（University of Bari, Italy）

吉田 あつし

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Ono, Y., K. Ogawa, and A. Yoshida, “Liquidity trap and persistent unemployment with dynamic optimizing agents: empirical evidence”, *The Japanese Economic Review*, 2004, vol.55, pp.355-371.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Yoshida, A. and Young-Sook Kim, “Sharing Health Risk and Income Risk Within Households: Evidence from Japanese Data,” presented at Far Eastern Meeting of Econometric Society in Seoul, June 30 to July 3.

- 2) Yoshida, A. and T. Shichijo, "Spatial Clustering of Housing Construction in the Tokyo Metropolitan Area: An Application of Spatially Clustered Fixed-Effects and Spatially Correlated Random-Effects Models," presented at Australian Meeting of Econometric Society in Melbourne, July 5 to July 8.

(2) 学会活動

- 1) 「社会保障研究」, 「土木学会論文集」, 「計画行政学会論文集」のレフェリー
- 2) 2004年度日本経済学会春季大会プログラム委員

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費、基盤研究(C)(2)、「医療・介護サービス需要と供給の計量分析」(代表者)
- 2) 人文・社会科学振興プロジェクト研究事業受託研究、独立行政法人日本学術振興会、「医療システムと倫理」(コアリーダー)
- 3) 財団法人村田学術振興財団、「医師学閥ネットワークとキャリアパス」(代表者)
- 4) 科学研究費、基盤研究(A)(1)、「時空間統計解析の理論と応用」(分担者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市経済学特論

経営・政策科学研究科：都市経済学

社会工学類：都市データ分析, 都市経済学, 統計学2

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) コンピュータ委員
- 2) 博士論文管理委員

III. 社会的活動

- 1) (財)関西社会経済研究所リサーチ・フェロー

吉田 雅敏

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Incidence of Consumption Tax and Tax Treatment of Elderly Expenditure, Public Finance, forthcoming.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Keynesian Multipliers with Home Production.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：財政システム特論

経営・政策科学研究科：財政学

社会工学類：経済原論、マクロ経済学、財政学

(2) 役職・各種委員会委員

- 1) 社会工学類長
- 2) 各種委員会委員：多数

(3) 他大学における講義

- 1) 明海大学大学院経済学研究科（非常勤講師）
- 2) 放送大学（非常勤講師）

助教授

秋山 英三

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および論文

- 1) Akiyama, E. and Aruka, Y., “Evolution of Reciprocal Cooperation in the Avatamsaka Game,” Economics and Heterogeneous Interacting Agents, Lecture Notes in Economics and Mathematical Systems, Berlin, Springer, 14pages (2005), forthcoming.
- 2) Suzuki, S. and Akiyama, E., “Reputation and the Evolution of Cooperation in Sizable Groups,” — submitted to Proceedings of the Royal Society of London B, 6 pages (2005) forthcoming.
- 3) 木村博道、秋山英三、「記憶長が可変な Minority Game の振る舞い」、エージェント合同シンポジウム (JAWS 2004) Proceedings, 189-196 (2004).
- 4) Akiyama, E. and Aruka, Y., “Evolution of Reciprocal Cooperation in the Avatamsaka Game,” the 9-th Workshop on Economics and Heterogeneous Interacting Agents, 13 pages (2004). 会議の CD-ROM、会議の WEB SITE に掲載
(<http://cmwww01.nda.ac.jp/cs/AI/wehia04/>).
- 5) Suzuki, S. and Akiyama, E., “Reputation and the Evolution of Cooperation in Sizable Groups,” the 9-th Workshop on Economics and Heterogeneous Interacting Agents, 12 pages (2004). 会議の CD-ROM、会議の WEB SITE に掲載
(<http://cmwww01.nda.ac.jp/cs/AI/wehia04/>).

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 鈴木真介、綿引智美、秋山英三、小田秀典、「社会的ジレンマにおける評判の役割」21 世紀 COE ユースワークショップ「社会科学における実験研究の現在」、京都大学、2005 年 3 月 7,8 日 (発表：3/7)
- 2) 秋山英三、「ゲームと時間」、進化経済学会非線形問題研究部会 (中央大学企業研究所公開チーム研究会共催)、中央大学、2005 年 1 月 15 日.

- 3) Akiyama, E., "Robustness against Longer Memory Strategies in Evolutionary Games," EES2004, Kyoto Sangyo University, Kyoto, Japan, December 13-17, 2004. (presented on December 16)
- 4) 木村博道、秋山英三、「記憶長が可変な Minority Game の振る舞い」合同エージェントワークショップ&シンポジウム 2004 (JAWS2004)、2004年10月27日~29日(発表:10/28)
- 5) 秋山英三「Evolution of Cooperation in Social Dilemma」、国際公共財ワークショップ、京都大学、2004年9月19日

(2) 学会活動

- 1) 日本ソフトウェア科学会 ネットワークが創発する知能研究会 プログラム委員
- 2) 電子情報通信学会論文誌編集委員会査読委員
- 3) 電子情報通信学会常任査読委員
- 4) レフリー Physica D 1件, 情報処理学会和文 3件

II. 研究活動

(1) 研究業績

システム情報工学研究科：進化と経済特論

経営・政策科学研究科：情報科学演習

社会工学類：社会工学実習, プログラミング実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：将来構想委員(新カリキュラムタスクフォース),
コンピュータ委員

社会工学類：カリキュラム委員

有田 智一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書, 論文等

- 1) Tomokazu Arita, Masahisa Fujita and Yoshihiro Kameyama, "Regional Cooperation of Small & Medium Firms in Japanese Industrial Clusters," Institute of Developing Economies, Discussion Paper No. 18, 2004.
- 2) McCann, Philip and Arita, Tomokazu, "Industrial clusters and regional development: a transactions-costs perspective on the semiconductor industry," in de Groot, P. Nijkamp, R. Stough, (eds), *Entrepreneurship and Regional Economic Development: A Spatial Perspective*, 2004, Edward Edgar, Cheltenham, pp.225-251.
- 3) 小俣元美、大村謙二郎、有田智一、「地方都市中心市街地における商業業務系空き床の実態からみた空き床指標に関する研究 宇都宮市を事例として」、『都市計画論文集』、2004, No.39-3, pp49-55.
- 4) 財団法人第一住宅建設協会、「都市居住環境整備に関わる自治体プランナーの役割に関する日・独の国際比較研究』、2004.
- 5) 財団法人土地総合研究所、「平成15年度土地関係研究者育成支援事業報告書：需要縮小時代の既成市街地再生に関する研究』、2004.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Tomokazu Arita, Philip McCann, "A comparison of industrial location behaviour within the US and European Semiconductor Industries," at the 44th Congress of the European Regional Science Association, University of Porto, Porto, Portugal, August 2004

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会建築法制委員会市街地環境基準小委員会委員
- 2) 日本建築学会建築基準法・都市計画法特別研究委員会委員
- 3) 日本都市計画学会学術委員会委員

4) 日本都市計画学会事業委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 平成 16 年度受託研究「筑波研究学園都市の科学技術関連の集積を活用した業務核都市の育成整備方策調査」(委託者：土浦・つくば・牛久業務核都市整備推進協議会)
- 2) 研究助成(財団法人土地総合研究所、『平成 15 年度土地関係研究者育成支援事業』)
- 3) 研究助成(鹿島学術振興財団)

(4) その他

- 1) 2004 年度日本建築学会奨励賞受賞

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市経済学演習

経営・政策科学研究科：産業立地論

社会工学類：統計学，都市と環境の経済学，現代まちづくりの理論と実践
都市計画マスタープラン策定実習

(2) 役職・各種委員会委員

第三学群：第三学群安全管理委員

経営・政策科学研究科：経営・政策科学研究科広報委員

社会工学類：社会工学類 2 年次クラス担任

III. 社会的活動

- 1) 東京都江戸川区都市計画審議会委員
- 2) 土地有効利用事業の効果的な推進に資する計画・事業の仕組みに関する委員会委員(国土技術研究センター)
- 3) NPO 法人つくばハウジング研究会会員
- 4) シンポジウム「全国の二項道路整備の取組み状況と新たな整備方策 建築行政とまちづくりの連携 狭あい道路の整備方策と連担建築物設計制度の

- 活用」(主催 地域科学研究会): 2004年12月14日(火)於東京、パネリスト
- 5) 公開討論会「建築基準法・都市計画法および関連制度への提言案について」(主催: 日本建築学会建築基準法・都市計画法特別研究委員会): 2005年1月25日(火)於東京、パネリスト
- 6) シンポジウム「伝統ある密集市街地における災害に強いコミュニティの形成 狭あい道路の拡幅・整備とまちづくり ~ 地域特性を踏まえた整備手法と計画的誘導方策の展開 ~」(主催 地域科学研究会): 2005年3月29日(火)於東京、パネリスト

石井 健一

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) 論文、広告表現の文化差 - 内容分析による時代比較と国際比較 -、『日経広告研究所報』218号、pp.36-42.
- 2) 論文、東アジアにおけるジャパナイゼーション-ポピュラー文化流通の政策科学をめざして『グローバル化と東アジア』(川崎嘉元・滝田賢治・園田茂人編、中央大学出版会),pp.325-356
- 3) 論文、パネル調査によるインターネット利用の影響分析、東京大学社会情報研究所調査研究紀要、No.21, pp.305-454 (橋元良明、木村忠正、辻大介、金相美と共同執筆)
- 4) 論文、日本の若年層における韓国大衆文化の受容とアジア意識 - 首都圏および静岡県の大学生と高校生を対象にした調査から -、国際関係・比較文化研究、第3巻第1号、pp.73-94. (渡辺聡・石井健一・小針進).
- 5) 論文、韓流の源流 - アジア志向の経時的比較 -、社会工学系 Discussion Paper Series, No. 1109
- 6) 論文、対日意識とアジア志向の関連、社会工学系 Discussion Paper Series, No. 1105
- 7) インターネットの利用動向に関する実態調査報告書 2003、独立行政法人通信総合研究所 (分担執筆)

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) “ Mobile Communications in Japan ” ,World Internet Project 年次大会 (東洋大学、7月14日)
- 2) “ Internet Use : Comparing Time Diary and Conventional Methods ”, World Internet Project 年次大会 (東洋大学、7月15日)
- 3) “ Internet use in Japan: A time-diary method ”, Asia-Pacific Internet Research Association on “Information Statistics of the Internet: Measurement, Analysis and Applications”, August 19-20, 2004, Hong Kong and Macao
- 4) “ Media Cultures of Youth in Japan and Taiwan ”, Living with the Internet: Cross-cultural Study of Youth in Finland and Japan, (情報通信学会、11月13日)
- 5) 「韓流をどうとらえるか～日本人のアジアへの関心の変化」, 韓中両国国民における社会意識・大衆文化に関する研究ワークショップ、3月26日

(2) 学会活動

- 1) 司会「台湾における携帯電話とインターネットの利用」(情報通信学会大会、6月20日)
- 2) レフェリー (Telecommunications Policy、東京大学社会情報研究所紀要、日中社会学研究、経営行動科学)

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費 (B)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：社会調査論

経営・政策科学研究科：社会調査論

社会工学類：経済システム情報処理、戦略行動システム実習

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科：広報委員

社会工学類：クラス担任

III. 社会的活動

- 1) 日経広告研究所「広告の文化論的研究」研究会

江口 匡太

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) “Trainers’ Dilemma of Choosing between Training and Promotion”, Labour Economics, vol. 11 (2004) 765-783.
- 2) “Job Transfer and Influence Activities”, Journal of Economic Behavior and Organization, vol. 56 (2005) 187-197.
- 3) “Minimum Wages Enhance Trainers’ Incentives”, (2004), Working Paper Series 2004-18, ISER, University of Essex
- 4) 「整理解雇法理と経済活動」(共著) (第4章第3節単独執筆:114-122) (「経済構造の変化と労働市場に関する調査研究報告書」所収 雇用能力開発機構 & 統計研究会 (2004))
- 5) 「解雇規制のあり方」 経済セミナー (2004年12月号) 日本評論社

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 2004年8月 European Economic Association 年次大会 (マドリッド)
- 2) 2004年10月 日本経済学会年次大会 (岡山)
- 3) 2005年2月 神戸大学

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 若手研究 B(研究代表者) 「契約の不完備性と司法判断、社会規範に関する研究」
- 2) 科学研究費補助金 基盤研究 B(研究分担者) 「倒産をめぐる法制度の経済分析」
- 3) 統計研究会 労働市場研究委員会 「経済社会の構造変化と労働市場に関する調査研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：労働経済論

社会工学類：ミクロ経済学、労働経済学、公共エリアシステム演習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：学類運営委員、学類授業評価委員

III. 社会的活動

1) 文部科学省 在外研究員 (2003年12月～2004年8月)

2) 統計研究会 労働市場研究委員会委員

3) 講演 DC協会主催 第4回DCアドバイザー大会 (2005年3月)

太田 充

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 学会等での口頭発表・講演等

1) 太田充, 「東京圏における企業立地の集積と分散に関する研究 (A study on the agglomeration and dispersion of firms in the Tokyo metropolitan area)」, 第18回応用地域学会研究発表大会, 於北九州国際会議場 (口頭発表)

(2) 学会活動

1) 査読委員 (日本建築学会 1編, 日本都市計画学会 2編, 日本地域学会 1編)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：地域科学特論

経営・政策科学研究科：都市地域計画, シミュレーション実習

社会工学類：地域と地域間の経済学, 空間と交通の経済学, プログラミング実習, 都市地域経済学演習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：広報委員

経営・政策科学研究科：修論委員

岡本 直久

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) 東京都市圏における世帯の自動車保有及びトリップ発生に関する基礎的研究：土木計画学研究論文集 No.21, 531 頁～538 頁, 共著 (石田東生, 上原穂高, 岡本直久, 古屋秀樹); 2004 年 9 月
- 2) 走行映像を用いた主観的渋滞判定の実験条件の考察とその改良：土木計画学研究論文集 No.21, 1041 頁～1048 頁, 共著 (石田東生, 鯉淵正裕, 岡本直久, 甲斐慎一郎, 古屋秀樹); 2004 年 9 月
- 3) 走行映像を用いた主観的渋滞判定の実験条件の考察とその改良：土木計画学研究論文集 No.21, 1041 頁～1048 頁, 共著 (石田東生, 鯉淵正裕, 岡本直久, 甲斐慎一郎, 古屋秀樹); 2004 年 9 月
- 4) 路側観測による NO_x 排出量推計方法に関する基礎的研究：第 24 回交通工学研究発表会論文集, 213 頁～216 頁, 共著 (石田東生, 岡本直久, 堤盛人, 古屋秀樹); 2004 年 11 月

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会学術委員会委員
- 2) Eastern Asia Society for Transportation Studies, Secretariat

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費基盤研究 (C)：プローブカーを用いた渋滞計測と評価に関する研究：代表石田東生 (分担)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：プロジェクト評価特論

経営・政策科学研究科：都市システム計画、情報科学演習

社会工学類：都市と地域の経営・行政論、交通計画、社会基盤整備と地域・国土計画

(2) 他大学における講義

- 1) 青山学院大学大学第二部経営学部非常勤講師 観光論担当
- 2) 島根県立大学非常勤講師 地域経済論担当

III. 社会的活動

- 1) 友部S AスマートIC社会実験推進協議会会長（茨城県）

繁野 麻衣子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 阿部英樹，糸井川栄一，繁野麻衣子，「実市街地データへの難燃化整備計画問題の適用可能性」地域安全学会論文集 (2004) 6, 149-154.
- 2) Maiko SHIGENO, “A Survey of Combinatorial Maximum Flow Algorithms on a Network with gains,” Journal of the Operations Research Society of Japan (2004) 47, 244-264.

(2) 学会活動

- 1) 情報処理学会アルゴリズム研究運営委員会運営委員
- 2) レフェリー：Journal of the Operations Research Society of Japan, Pacific Journal of Optimization など

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：離散システム特論
経営・政策科学研究科：数学 I, 離散最適化
社会工学類：線形代数 I, 数理計画, 計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：入試実施委員
社会工学類：入試委員

白波瀬 佐和子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および論文

- 1) 白波瀬佐和子 2005年 『少子高齢社会のみえない格差 ジェンダー・世代・階層のゆくえ』東京大学出版会
- 2) 白波瀬佐和子 2005年 「少子化の背景にある家庭内性別役割分業 - ジェンダー格差の存続 - 」毎日新聞社人口問題調査会編『超少子化時代の家族意識』, 毎日新聞社, pp.279-300, lxvii-lxx.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 白波瀬佐和子 2004年 「少子高齢化の中のジェンダー 成人子と親の関係に着目して」 関東社会学会テーマ部会「ジェンダー不平等の多面性」、専修大学(6月, 東京)
- 2) 白波瀬佐和子 2004年 「母親就労の位置づけに関する国際比較研究 - 男女ともに働きやすい社会をめざして - 」経済産業研究所政策シンポジウム「女性が活躍できる社会の条件をさぐる」(11月, 東京)
- 3) Shirahase, Sawako. 2005. "The Pattern of Marital Association and Its Consequences in Japan," Paper to be presented at the workshop, Researching Social Class in Japan, University of Tokyo, 8-9 January (Tokyo).

- 4) 白波瀬佐和子 2005年「介護サービスと世帯・地域との関係に関する実証研究, 厚生労働省科学研究「政策科学推進研究事業」公開シンポジウム, 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会(2月, 東京)
- 5) Shirahase, Sawako. 2005. "Marriage in Japan in an Era of Declining Fertility Rate and Aging Society," DIJ(German Institute for Japanese Studies) Forum, March 31(Tokyo).

(2) 学会活動

- 1) 日本社会学会『社会学評論』編集委員
- 2) 数理社会学会『理論と方法』編集委員
- 3) 福祉社会学会『福祉社会学研究』編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「介護サービスと世帯・地域との関係に関する実証研究」
- 2) 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「少子高齢社会の社会経済的格差に関する国際比較研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：公共政策特論

経営・政策科学研究科：公共政策分析

社会工学類：公共政策論, 社会調査法および実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：カリキュラム委員

社会工学類：クラス担任

(3) 他大学における講義

- 1) 東京大学文学部社会学科非常勤講師（「社会学特論」担当）
- 2) 東京工業大学工学部非常勤講師（「人間学概論」担当）

III. 社会的活動

- 1) 経済産業研究所「女性活用政策研究会」委員
- 2) 茨城県総合計画審議会部会「住みよい茨城づくり専門部会」専門委員
- 3) 東京認証保育所協会「認証保育所と次世代育成支援」研究会パネリスト

鈴木 秀男

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文など

- 1) Natsuki Sano, Hideo Suzuki and Masato Koda, “A Robust Boosting Method for Mislabeled Data”, Journal of the Operation Research Society Japan, 2004, Vol.47, No.3, pp.182-196.
- 2) 高橋大地, 鈴木秀男, 「プロ野球チームに対するロイヤルティと満足度に関する研究」, 品質, 2005, Vol.35, No.1, pp.139-145.
- 3) 佐野夏樹, 鈴木秀男, 竹林実, 「AdaBoost を用いた顧客スコアリング」, Direct Marketing Review, 2005, Vol.4, pp.11-20.
- 4) Natuski Sano, Hideo Suzuki, and Masato Koda, “A Robust Boosting Method Using Zero-one Loss Function: SNRBoost,” Institute of Policy and Planning Science, University of Tsukuba, Discussion Series, No.1092, 2004.
- 5) Hideo Suzuki, “Process Control Using Boosting with Classification Trees,” The Proceeding of 18th Asia Quality Symposium, 2005.
- 6) Tetsuaki Maekawa and Hideo Suzuki, “The Effect of Environmental Management System on the lumber industry,” the Proceeding of 18th Asia Quality Symposium, 2005.
- 7) Makoto Mizuno, Hideo Suzuki, Ushio Sumita and Akira Saji, “Cost-Benefit Analysis of Several Hard-Segmentation methods for Identifying Target Customers,” Marketing Science Conference at Erasmus University Rotterdam, June 6, 2004.
- 8) 鈴木秀男, 水野誠, 住田潮, 佐治明, 「CRMにおけるターゲット識別手法の評価: 決定木、ロジスティック回帰、サポートベクターマシンの比較」, マーケティング・サイエンス学会第75回研究大会, 2004年6月12日.
- 9) 鈴木秀男, 大神雅子, 入澤靖幸, 西田直樹, 堀内俊寛, Javier Sanchez, 曾

稚,「運送業界における顧客の知覚品質とブランド評価に関する研究」,日本品質管理学会,会場;(財)日本科学技術連盟,2004年5月29日,第74回研究発表要旨,pp.61-64.

- 10) 山本直寛,鈴木秀男,松尾博文,「技術サイクルを考慮した最適な製品開発期間の決定」,日本オペレーションズ・リサーチ学会,会場;東北大学,2004年9月9日,2004年秋季研究発表会アブストラクト集,pp.260-261.
- 11) 鈴木秀男,「テキストマイニングとCRM」,日本ダイレクトマーケティング学会DBM研究部会,2005年2月18日.
- 12) 水野誠、住田潮、鈴木秀男他,「利用パターンの多様性を考慮したターゲット・マーケティング-クレジット顧客データへの応用」,平成16年度CRM研究会データ解析コンペ最終報告会、2005年3月5日.

(2) 学会活動

- 1) 日本品質管理学会投稿論文審査委員会委員、日本品質管理学会国際委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費(基盤研究(C)(2)、研究分担者) 「データマイニングモデルの総合とCRMビジネスモデルのプロトタイピング」
- 2) 2004年度システム情報工学研究科基盤教育研究費(教員当)等重点配分(代表者) 「ユビキタス社会におけるビジネスモデル」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：統計解析特論

経営・政策科学研究科：品質管理、特定課題研究

社会工学類：経営工学実習、品質管理

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科：MBA 特定課題研究委員会委員長

社会工学類：JABEE 委員会委員

(3) 他大学における講義

- 1) 東京経済大学非常勤講師
- 2) 明治大学非常勤講師
- 3) (財)日本規格協会「2004年度実験計画法セミナー入門コース」講師

竹原 均

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 研究論文

- 1) 竹原 均, 須田一幸, 「フリーキャッシュフローモデルと残余利益モデルの実証研究 - 株価関連性の比較 - 」, 『ディスクロージャー研究』, 5 (2004) 23-36.
- 2) 竹原 均, 「株式アクティブ運用: 評価方法と実務上の課題」, 『年金総合研究センター「平成 15 年度ポートフォリオの管理に関する調査研究-アクティブ運用の適正規模及び運用方法の拡大適否(株式)」報告書』, (2004) 127-148.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 日本ファイナンス学会第 12 回大会, 「Fama-French ベンチマーク, リスクファクターのリターン特性の分析」
- 2) 日本ファイナンス学会第 12 回大会, “Information Based Trade, PIN variable, and the Portfolio Style Differences: Evidence from Tokyo Stock Exchange Firms”
- 3) EURO XX Cnference, “Relationship between Implicit Trading Costs and Investment Style: Evidence from Tokyo Stock Exchange Firms”
- 4) 日本オペレーションズリサーチ学会秋季研究発表会, 「ティックデータを使用して推定されたプライス・インパクト関数の形状と投資スタイル」
- 5) 日本経営財務研究学会大会, 「株式評価モデルを応用した投資戦略の超過リターン発生構造」
- 6) 日本経営財務研究学会大会, 「税効果, 限界税率と資本コスト」
- 7) Asian Academic Accounting Association 5th Annual Conference, Southwestern Finance Association 2005 Annual Meeting, “Market Inefficiency, Role of Earnings Information, and the Stock Returns: The Time-Series Properties of Japanese Accounting Numbers.”

(2) 学会活動

- 1) 日本ファイナンス学会監事
- 2) 日本ファイナンス学会研究観望会代表幹事
- 3) 日本証券アナリスト協会国際試験委員
- 4) 『証券アナリストジャーナル』誌編集委員

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：投資パフォーマンス評価特論

経営・政策科学研究科：ファイナンス理論Ⅰ

社会工学類：ファイナンスⅠ, 経営工学実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：社会システム工学専攻, 計量ファイナンス・マネジメント専攻予算委員長

社会工学類：運営幹事, 予算委員

III. 社会的活動

- 1) 財団法人年金総合研究センターフォーラム『これからの運用環境とポートフォリオのあるべき姿』, 基調講演「資産配分の策定からマネージャー選択までの理論と実践」

Stephen John Turnbull

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “Does TCO account for the U.S. consumers’ preference for the automobile with the Japanese nameplate?” 共著者: 金澤雄一郎・明城聡。North American Winter Meetings of the Econometric Society, フィラデルフィア (アメリカ), 2005年1月7日。
- 2) “An Empirical Study of the Effect of IT Investment in Japan 1975–2000:

Focus on Software Assets.” Meetings of the European Economic Association, マドリッド (スペイン), 2004年8月22日。

- 3) “Is Perfectly Competitive Innovation Compatible with the Free Software Ethic?” Far Eastern Meetings of the Econometric Society, ソウル (韓国), 2004年7月1日。

(2) 学会活動

- 1) 「経営行動科学」編集委員
- 2) 「経済研究」概要編集員

(3) 研究助成など

- 1) 科研費 基盤研究(C)(3) 平成17年度～19年度金澤雄一郎・スティーヴェンターンプル「ランダム係数ロジトモデルを用いたアメリカ自動車需要の推定とマーケティング考察」
- 2) 研究科重点配分 平成17年度金子守・秋山英三・スティーヴェンターンプル・石川竜一郎「ゲームにおけるプレイヤーの心的内部構造とそのシミュレーション分析」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報経済システム特論

経営・政策科学研究科：ミクロ経済学

社会工学類：経済動学, Introduction to Social and Economic Systems

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：入学試験実施委員, コンピュータ委員

張 勇兵

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文など

- 1) Evaluation of website usability using markov chains and latent semantic analysis (with M. Kitajima, N. Kariya, and H. Takagi), IEICE Trans. on Communications, Vol. E88-B, No. 4, pp. 1467-1475 (Apr. 2005).
- 2) Optimal multicast routing using genetic algorithm for WDM optical networks (with H. Siregar and H. Takagi), IEICE Trans. on Communications, Vol. E88-B, No. 1, pp. 219-226, (Jan. 2005).
- 3) D-CAT: An efficient approach for distributed channel allocation in cellular mobile networks (with S.K. Das and X. Jia), ACM/Baltzer J. on Mobile Networks and Applications Vol. 9, No. 4, pp. 279-288 (Aug. 2004).
- 4) Traffic-based reconfiguration for logical topologies in large-scale WDM optical networks (with M. Murata, H. Takagi, and Y. Ji), Proc. IFIP/IEEE Int. Conf. Optical Network Design and Modelling, Milano, Italy, pp. 93-103 (February 2005).
- 5) 通信状況を考慮した階層化 Mobile IPv6 ネットワーク における移動性管理方式 (共著：大畑紀博), 電子情報通信学会テレコミュニケーションマネジメント研究会, 2004年11月.
- 6) Traffic-based reconfiguration for logical topologies in large-scale WDM optical networks (with M. Murata, H. Takagi, and Y. Ji), Discussion Paper No. 1099, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba (Nov. 2004).
- 7) Optimal Placement of Split-capable Nodes for Optical Multicast Routing in WDM Networks (共著：J.H. Siregar, H. Takagi), 電子情報通信学会テレコミュニケーションマネジメント研究会, 2004年11月.
- 8) Service differentiation in optical burst switched networks: Performance and implementation of bandwidth allocation with and without wavelength preemption (with J. Phuritakul and Y. Ji), 電子情報通信学会テレコミュニケーションマネジメント研究会, 2004年11月.

(2) 学会活動

- 1) 専門委員：電子情報通信学会テレコミュニケーションマネジメント研究会
- 2) 編集委員：電子情報通信学会論文誌特集号「ネットワークオペレーションと資源管理」
- 3) プログラム委員：The Seventh Asia Pacific Web Conference (APWeb'05), Shanghai, China, March 29-April 1, 2005.
- 4) プログラム委員：Third International Workshop on Cooperative Internet Computing (CIC 2004) held in conjunction with ISPA'04, Hong Kong, China, December 12, 2004.
- 5) プログラム委員：Symposium of Wireless Access, IEEE Vehicular Technology Conference (VTC-2004 Spring), Magazzini del Cotone, Italy, May 11-14, 2004.
- 6) プログラム委員：The 1st International Workshop on Mobile Peer-to-Peer Computing (MP2P 2004), In Conjunction with the 2nd IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications, Orlando, Florida, USA, March 14-17, 2004.
- 7) レフェリー：IEEE Trans. Communications, IEEE Trans. Computer, IEEE Trans. Wireless Communications, IEEE Trans. Reliability, IEEE Trans. Mobile Computing, IEEE Trans. Vehicular Technology, J. Parallel Distributed and Computing, Int. Conf. Parallel and Distributed Computing 2004, Int. Symp. Parallel Architectures, Algorithms and Networks, 2004, 情報処理学会和文誌, 情報処理学会英文誌, 電子情報通信学会英文誌

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報ネットワーク特論

経営・政策科学研究科：シミュレーション, シミュレーション実習

社会工学類：経営工学情報実習, 情報ネットワーク, 経営工学実習

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：社会工学システム専攻機器購入委員, 計算機運用委員会委員

経営・政策科学研究科：機器委員会委員, サテライト運用委員会委員, MOT検討小委員会委員

社会工学類：コンピュータ委員会委員，第3学群サブネット委員会委員

堤 盛人

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 多田直人・森地茂・福田大輔・堤盛人：「公共事業の事業期間短縮による経済効果に関する研究」，土木学会論文集，No765，pp.91-103，2004.
- 2) 石田東生・岡本直久・堤盛人・古屋秀樹：「路側観測によるNO排出量推計方法に関する基礎的研究」，第24回交通工学研究発表会論文集，pp.213-216,2004.
- 3) 地理情報システム学会編 『地理情報科学事典』，朝倉書店，2004. (分担執筆) 第18章第5節：「福祉サービス支援GIS」(清水英範氏と共同執筆) (pp.274-275)

ii) 書評

- 1) 堤盛人：「『都市成長管理のゾーニングの経済分析 佐々木公明著 有斐閣』」，応用地域学研究，NO.9 (1)，pp.78-79，2004.

iii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Marie Danielle Guillen, Haruo Ishida, Naohisa Okamoto and Morito Tsutsumi: Hidden Policies and the Indigenous Public Transport Sector: The Case of Tricycles and “ Habal-habal ” in Davao City, Philippines , presented at the of 10th World Conference on Transportation Research, Istanbul, Turkey, July4-8, 2004.
- 2) 堤盛人・Rob Dixon：不動産に関わる資格制度についての考察，『日本不動産学会平成16年度秋季全国大会（学術講演会）梗概集20』，2004（11月末発刊予定）. 不動産学会

(2) 学会活動

- 1) 日本不動産金融工学学会 理事
- 2) 日本写真測量学会 評議員
- 3) 日本写真測量学会 学術講演会 実行委員会 委員

- 4) 土木学会論文集 査読者
- 5) 土木計画学研究・論文集 No.20 査読者
- 6) 交通工学研究会 査読者
- 7) 地理情報システム学会 査読者
- 8) アジア交通学会 査読者

(3) 研究助成など

- 1) 研究代表者 平成 15 年度～16 年度 日本学術振興会 科学研究費補助金・若手研究(B) 210 万円 「不動産投資プロジェクトに内在するリスク評価のための不動産業に関する国際比較」
- 2) 研究分担者 平成 16 年度 国立環境研究所 受託研究 468 万円 「技術革新と需要変化を見据えた交通部門の CO2 削減中長期戦略に関する研究(リードタイムを考慮した対策技術導入の効果評価と政策手段に関する研究)」(研究代表者：石田東生)
- 3) 研究分担者 平成 15 年度～17 年度 日本学術振興会 科学研究費補助金・基盤研究(C)(2) 110 万円 「プローブカーを用いた渋滞計測と評価に関する研究」(研究代表者：石田東生)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：交通システム分析演習

経営・政策科学研究科：空間計量管理計画・都市計画演習

社会工学類：都市計画インターンシップ(分担)・社会基盤整備と地域・国土計画(分担)・プロジェクトの評価とファイナンス(分担)・線形代数・都市計画マスタープラン策定実習(分担)・都市データ分析(分担)・東京の都市学(分担)

(2) 役職・各種委員会委員

全学：新学内交通システム検討プロジェクトチーム メンバー

システム情報工学研究科：入試実施委員・社会システム工学専攻カリキュラム委員

社会工学類：入試実施委員・JABEE 委員・クラス担任(3年)

(3) 他大学における講義

- 1) 岐阜大学地域科学部 非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 国土交通省 道路事業評価手法検討委員会 委員
- 2) 横浜市 住民発意型地区計画等推進方策調査に関する委員会 委員
- 3) 社団法人日本測量協会機関誌月刊『測量』編集委員会 委員

永易 淳

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) The effectiveness of Japanese foreign exchange interventions during 1991-2001, 2004, *Economics Letters*, Vol. 84(3) 377-381.
- 2) Determinants of Angola's parallel real exchange rates, 2004, with E. Gelbard, *Developing Economies*, Vol. XLII (3) 392-404.
- 3) The term structure of interest rates and monetary policy during a zero interest rate period, 2004, *Monetary and Economic Studies*, Vol. 22(2) 19-43.
- 4) Predicting high frequency Japanese stock market data, 2004, 24th International Symposium on Forecasting, Sydney, Australia.
- 5) Empirical analysis of the exchange rate channel in Japan, 2004, 日本銀行金融研究所、東京

(2) 学会活動

- 1) レフリー *Bulletin of Economic Research*, *Economics Letters*

(3) 研究助成など

- 1) 財団法人 石井記念証券研究振興財団
- 2) 財団法人 学術振興野村基金

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：Advanced Macroeconomics

経営・政策科学研究科：Economic Development、論文指導

社会工学類：国際開発論、経済学入門、グローバルエリア演習、論文指導

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：システム情報工学研究科予算委員

社会工学類：社会工学類2年次クラス担任

III. 社会的活動

- 1) Strathclyde Business School, UK, 客員研究員

原嶋 耐治

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) “ The Ultimate Source of Inflation: A Microfoundation of the Fiscal Theory of the Price Level, ” EconWPA Working Papers, ewp-mac/0409018.
- 2) “ A New Asymptotically Non-Scale Endogenous Growth Model, ” EconWPA Working Papers, ewp-dev/0412009.
- 3) “ Endogenous Growth Models in Open Economies: A Possibility of Permanent Current Account Deficits, ” EconWPA Working Papers, ewp-it/0502001.
- 4) “ A Possibility of Protracted Output Gaps in an Economy without Any Rigidity, ” EconWPA Working Papers, ewp-mic/0404007.
- 5) “ The Bad Government: A Source of Uncertainty and Business Fluctuations, ” EconWPA Working Papers, ewp-mic/0407010.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

社会工学類：日本経済論

(2) 他大学における講義

- 1) 関東学院大学経済学部非常勤講師（国際経済学）

III. 社会的活動

- 1) 内閣府政策統括官（経済財政 - 運営担当）付企画官（国際経済担当）

藤川 昌樹

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 中野茂夫・藤川昌樹・安藤邦広・後藤治・堀江亨・黒坂貴裕「つくば市の集落空間と屋敷地の構成」(『日本建築学会計画系論文報告集』578、pp.139-145、2004年4月)
- 2) 藤川昌樹・平山育男・御船達雄「紀伊国伊都郡橋本町の町並みの構成とその形成過程」(『日本建築学会計画系論文報告集』581、pp.219-225、2004年7月)
- 3) 藤井恵介監修、角幸博・高橋恒夫・藤川昌樹他著『日本の家』(3、北海道・東北・関東、講談社、2004年9月)
- 4) 中野茂夫・藤川昌樹・安藤邦広・後藤治・堀江亨・黒坂貴裕「つくば市における屋敷地の配置構成 -接道条件と外部空間に着目して-」(『日本建築学会計画系論文集』583号、pp.135-141、2004年9月)
- 5) 藤川昌樹・高屋麻里子「屏風に描かれた建築の理解・記述とキーワード・ツリーの構造」(『第二定型洛中洛外図屏風の総合的研究』、pp.48-62、科研費報告書、2005年3月)

ii) その他

- 1) 藤川昌樹「近世高野山における子院建築と「谷」の空間」(平成16年度密教研究会学術大会公開シンポジウム、高野山大学)

(2) 学会活動

- 1) 作事史料を読む会幹事、レフェリー（日本建築学会、建築史学会）

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費・基盤研究 (B) 「街区保存手法の日中比較 北京と京都を事例として」(研究代表者)
- 2) 科学研究費・基盤研究 (A) 「第二定型洛中洛外図屏風の総合的研究」(研究分担者)
- 3) 科学研究費・基盤研究 (C) 「在郷町橋本における問屋建築の研究」(研究分担者)
- 4) 科学研究費・基盤研究 (A) 「大規模武家文書群による中・近世史料学の総合的研究」(研究分担者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市居住環境史演習

人間総合科学研究科：都市・村落遺産の評価・保存・再生

環境科学研究科：環境計画史、環境科学実習、環境科学野外実習、環境科学
III

社会工学類：都市環境保全計画、都市空間の歴史、まちづくりと空間設計の
歴史と思想、アメニティ創造のまちづくり実習

総合科目：都市・地域・環境を探る

III. 社会的活動

- 1) 室戸市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員種委員 (高知県)
- 2) 真壁町伝統的建造物群保存対策調査検討委員会委員 (茨城県)
- 3) 真壁城跡整備検討委員会委員 (茨城県)
- 4) 藤川昌樹「吉良川のまちづくり」(吉良川しゃべり場、吉良川町並み館)
- 5) 藤川昌樹「アメリカの歴史的町並みとその保存」(スペシャリスト事業講演会、高知県立高知工業高等学校)
- 6) 藤川昌樹「重要伝統的建造物群保存地区になると」(真壁町伝統的建造物群保存対策調査住民説明会、真壁町公民館)

繆瑩

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) L. Wang, Z. Cao, E. Okamoto, Y. Miao and T. Okamoto, Transformation-free proxy cryptosystems and their applications to electronic commerce, In: Proceedings of the Third International Conference on Information Security – Infosecu'04, pp. 92–98, ACM Press, New York, 2004.
- 2) R. Fuji-Hara, Y. Miao and M. Mishima, Optimal frequency hopping sequences: a combinatorial approach, IEEE Transactions on Information Theory 50 (2004), 2408–2420.
- 3) L. Wang, E. Okamoto, Y. Miao, T. Okamoto and H. Doi, ID-based series-parallel multisignature schemes for multi-messages from bilinear maps, In: P. Charpin and O. Ytrehus, eds., The International Workshop on Coding and Cryptography – WCC'2005, pp. 265–274, Bergen, Norway, 2005.
- 4) G. Ge, Y. Miao and L. Wang, Combinatorial constructions for optimal splitting authentication codes, SIAM Journal on Discrete Mathematics 18 (2005), 663–678.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Y. Miao, Packings for low-density parity-check codes (Invited Talk), The First Chinese National Conference on Combinatorics and Graph Theory, Urumqi, Xinjiang, China, August 8–August 10, 2004.
- 2) Y. Miao, Combinatorial constructions for authentication codes, Department of Computer Science and Engineering, Shanghai Jiao Tong University, China, November 13, 2004.
- 3) Y. Miao, Combinatorial designs and splitting authentication codes, College of Mathematics and Computer Science, Guangxi Normal University, China, March 9, 2005.

(2) 学会活動

- 1) Editor: Graphs and Combinatorics, Springer; Journal of Combinatorial Designs, John Wiley & Sons.

- 2) Referee for: Australasian Journal of Combinatorics; Designs, Codes and Cryptography; Discrete Mathematics; IEEE Communications Letters; IEEE Transactions on Information Theory; Journal of Combinatorial Designs; Journal of Statistical Planning and Inference; and several international conferences.

(3) 学会活動

- 1) 科学研究費，基盤研究(C)(2)「組合せ的設計理論を用いた光直交符号の構成に関する研究」，代表者。

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：離散数学と暗号，リスク工学演習

経営・政策科学研究科：実験計画法

社会工学類：統計I，情報ネットワーク，解析学

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：クラス担任

吉瀬 章子

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) N.V. Thoai, Y. Yamamoto and A. Yoshise. “Global optimization method for mathematical programs with complementarity constraints,” Journal of Optimization Theory and Applications 124(2005)467 – 490.
- 2) A. Yoshise. “Interior Point Trajectories and a Homogeneous Model for Non-linear Complementarity Problems over Symmetric Cones,” DPS1090 (2004, revised 2005), submitted to SIAM Optimization.
- 3) A. Yoshise. “Interior Point Trajectories and a Homogeneous Model for Non-linear Complementarity Problems over Symmetric Cones,” The Institute of

Statistical Mathematics Cooperative Research Report 178: Optimization – Modeling and Algorithms (2005) 200–235.

- 4) A. Suzuka, R. Miyashiro, T. Matsui and A. Yoshise. “Semidefinite Programming Based Approaches to Home-away Assignment Problems in Sports Scheduling,” METR 2005-07, Department of Mathematical Informatics, Graduate School of Informational Science and Technology, The University of Tokyo (2005), to appear in N. Megiddo, Y. Xu and B. Zhu, eds., Algorithmic Applications in Management: First International Conference, AAIM 2005, Xian, China, June 22-25, 2005, Lecture Notes in Computer Science 3521 (2005) 95 – 103, Springer-Verlag.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) A. Yoshise. “Generalized Central Paths and a Homogeneous Model for Complementarity Problems over Symmetric Cones,” CORS/INFORMS 2004, Banff, Canada (May 18, 2004).
- 2) A. Yoshise. “Interior Point Trajectories and a Homogeneous Model for Non-linear Complementarity Problems over Symmetric Cones,” ICCOPT 2004, Rensselaer Polytechnic Institute, Troy, New York, U.S (August 3, 2004).
- 3) Y. Lin and A. Yoshise. “A homogeneous model for mixed complementarity problems over symmetric cones,” 2005 年度日本OR学会春季研究発表会，東京農工大学 (2005 年，3 月 16 日) .
- 4) 鈴鹿順美，宮代隆平，吉瀬章子，松井知己。「リーグ戦の最適会場割当問題に対するSDP緩和を用いた手法」2005 年度日本OR学会春季研究発表会，東京農工大学 (2005 年，3 月 16 日) .
- 5) 鈴鹿順美，宮代隆平，吉瀬章子，松井知己。「リーグ戦の最適会場割当問題に対するSDP緩和を用いた手法」研究集会「最適化：モデルとアルゴリズム」，統計数理研究所 (2005 年，3 月 22 日).
- 6) Y. Lin and A. Yoshise. “A homogeneous model for mixed complementarity problems over symmetric cones,” 研究集会「最適化：モデルとアルゴリズム」，統計数理研究所 (2005 年，3 月 23 日).

(2) 学会活動

- 1) レフェリー：Mathematical Programming, SIAM Journal on Optimization, Applied Numerical Mathematics, Applied Mathematics and Optimization, European Journal of Operational Research, Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics, Optimization Methods and Software, IEICE.

2) 編集委員：Pacific Journal of Optimization

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤 B 課題番号 14380188 「制御不能な部分システムを含む最適化問題」研究分担者
- 2) 科学研究費補助金 基盤 C2 課題番号 155600487 「非線形非凸計画問題に対する大域的・発見的ハイブリッド算法の研究」研究分担者

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：数理計画特論 I，数理計画特論 II

経営・政策科学研究科：数理計画実習

社会工学類：経営工学実習，数理計画，線形代数 II，社会工学特設講義（数学の言葉）

(2) 役職・各種委員会委員

全学：筑波大学セーフティー・プロジェクト委員

システム情報工学研究科：カリキュラム委員

吉野 邦彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) 石岡義則、吉野邦彦、白谷栄作、石川雅也 (2004)、「土地利用別メッシュタンクモデルを用いた湿原流域降雨流出解析；別寒辺牛湿原を事例として」、水文水資源学会誌、Vol.17, No.3, pp.233-240
- 2) 吉野邦彦 (2003)、「リモートセンシングによる三宅島農地の噴火被害の把握」、日本農業土木学会誌、Vol.71, No.6、pp.483-486、2003
- 3) 横山雄介、吉野邦彦 (2004)、「空中写真判読とGISによる三宅島農地復興のための噴火被害状況把握」、農業土木学会論文集、233号、pp.67-73.

- 4) Michiru MIYAMOTO, Kunihiro YOSHINO, Toshihide NAGANO, Tomoyasu ISHIDA, Yohei SATO(2004), USE OF BALLOON AERIAL PHOTOGRAPHY FOR CLASSIFICATION OF KUSHIRO WETLAND VEGETATION, NORTHEASTERN JAPAN, WETLAND, Vol.24, No.3, pp.701-710 (in print).
- 5) Yoshino, K., Kushida,K.,Ishioka,Y.(2004) : Differences in plant canopy bi-directional reflectance factors among rice varieties, Paddy and Water Environment, Vol.2, No.3, pp.153-162.
- 6) TAHA, R. Y. and Yoshino,K., Kusumana,C. and Prasetyo, L. B.(2004), Zonation and Recommendation for Sustainable Management of Mangrove Forest by Using GIS - In Cemara Village, West Java, Indonesia - , Journal of Agricultural Development Studies, Vol.15, No.2, pp.40-50

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Kunihiro YOSHINO, Tomohiro YAMAUCHI, Yoshinori ISHIOKA(2004): Guidelines for soil conservation in Cidanau watershed by assessing soil loss risks using remote sensing and GIS, Proceedings of the third International Seminar of Toward Harmonization between development and Environmental Conservation in Biological Production, pp.O1-8-1 ~ O1-8-14, December 3-5, 2004 at Serang, Banten, Indonesia.

(2) 学会活動

- 1) 農業土木学会学会誌 編集委員
- 2) 日本写真測量学会誌 編集委員

(3) 研究助成など

- 1) 文部省科学研究費 基盤 A 海外共同研究 60万円

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：地域資源管理論

環境科学研究科：環境情報調査表現法，環境総合アセスメント，環境科学（1週分担）

芸術研究科（協力教員）：デジタル・アーカイブ（分担）

社会工学類：都市計画実習（分担），環境科学とリスクマネジメント，都市データ分析（分担），都市計画情報実習（分担）

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：運営委員会委員，実験廃棄物取り扱い責任者

渡辺 俊

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文など

- 1) 既成市街地に立地する商業施設広場の利用及び評価に関する研究、神奈川県川崎市川崎区を事例として、日本建築学会学術講演梗概集、2004年8月

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会
- 2) 日本都市計画学会
- 3) 地理情報システム学会
- 4) ソフトウェア科学会、
- 5) CAADRIA
- 6) CAAD Futures
- 7) ADID
- 8) IJAC 各委員会委員・論文査読メンバー他

(3) 研究助成など

- 1) 伝統的年における街区保存手法の日中比較 - 北京と京都を事例として - 、科学研究費補助金 基盤研究（B）

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：地理情報システム特論

人間総合科学研究科：デジタルアーカイブ

環境科学研究科：環境デザイン論

社会工学類：都市空間の計画とデザイン、現代まちづくりの理論と実践、都市計画情報実習、アメニティー創造のまちづくり演習

講師

石川 竜一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) “Communication in cheap-talk games,” with E. Shirataki, University of California, Berkeley, 2004.
- 2) “Minimal Belief Change in Info-memory Protocols,” University of California, Berkeley, 2004.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) “Core equivalence in economy under generalized information,” with T. Matsuhisa and Y. Hoshino, The First General Equilibrium Theory Workshop in Asia, Tokyo, 2004年6月.
- 2) “Minimal Belief Change in Info-memory Protocols,” 横浜国立大学 近経研究会, 2004年7月.
- 3) “Core equivalence in economy under generalized information,” with T. Matsuhisa and Y. Hoshino, 筑波大学ミクロ経済学・ゲーム理論セミナー, 2004年7月.
- 4) “Minimal Belief Change in Info-memory Protocols,” 一橋大学 経済理論ワークショップ, 2004年7月.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー：Games and Economic Behavior

(3) 研究助成など

- 1) 日本学術振興会 特別研究員研究奨励費

II. 教育・業務活動

(1) 他大学での研究

- 1) 米国 カルフォルニア大学バークレー校経済学部訪問研究員 (2005年1月まで)

上市 秀雄

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書, 論文

- 1) Naoko Kuriyama, Takahiro Saito, Hideo Ueichi, Takashi Kusumi, Analogical decision making in career choice, The 28th International Congress of Psychology(Beijin), 97, 2004.
- 2) Takahiro Saito, Hideo Ueichi, Naoko Kuriyama, Takashi Kusumi, Generated gaps between students' expectation and satisfaction for their universities, The 28th International Congress of Psychology(Beijin), 205, 2004.

ii) その他

- 1) 楠見孝・上市秀雄・平山るみ「内分泌攪乱物質のリスク認知過程と個人差」, 内分泌攪乱物質のリスクコミュニケーションに関する研究, 厚生労働省科学研究費補助金化学物質リスク研究事業平成16年度総括・分担研究年度終了報告書, 80-109, 2005.

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金基盤(C)(2)「逸脱行動が生起するプロセスと矯正方法に関する研究」(研究代表者)
- 2) 科学研究費補助金基盤(B)(1)「進路意思決定における認知感情過程のモデル化」(研究分担者)
- 3) 厚生労働省科学研究補助金(食品・化学物質安全総合研究事業)「内分泌攪乱物質のリスクコミュニケーションに関する研究」(研究協力者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：意思決定分析，統計

社会工学類：経済行動論，統計，情報リテラシー演習，教職総合演習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：総務委員

(3) 他大学における講義

- 1) 立教大学社会学部非常勤講師（担当科目：意思決定論）

大久保 正勝

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) Okubo, M. “Measurement of Intertemporal Substitution under Nonseparable and Nonhomothetic Utility: The Case of Import Demand”, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, Discussion Paper Series, No.1106, February 2005.
- 2) Okubo, M. “Intertemporal Substitution and Nonhomothetic Preferences”, Institute of Policy and Planning Sciences, University of Tsukuba, Discussion Paper Series, No.1107, February 2005.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) “Non-Separable Preferences, Terms of Trade Shocks, and the Measurement of Intertemporal Substitution”，日本経済学会春季大会（明治学院大学）2004年6月

(2) 学会活動

- 1) レフェリー：Journal of the Japanese and International Economies, Journal of Macroeconomics

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 若手研究(B) (研究代表者)
- 2) 筑波大学大学院システム情報工学研究科 基盤研究費重点配分 (研究代表者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：計量経済学実習

社会工学類：社会工学実習，線型代数Ⅰ，マクロ経済学，マクロ計量分析

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科：カリキュラム委員，文系修士棟防災組織搬出係班長

社会工学類：学類運営幹事，学類授業評価委員，学生委員，クラス担任(2年次)

III. 社会的活動

- 1) 財団法人財政経済協会「財政政策の効果測定手法に関する調査研究」研究会委員

近藤 文代

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) Suzuki, Shinichi; Kondo, Fumiyo N. (2004), "How a Neural Network Machine Should be Selected to Forecast Seasonal Data?" in Proceedings of International Conference on Computing, Communications and Control Technologies: CCCT'04, The University of Texas at Austin and The International Institute of Informatics and Systemics (IIIS), Vol. I, pp.302-307. (August 14-17, 2004 - Austin, Texas, USA)

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Kondo, Fumiyo N. & Ohta, Koji (2005), “Simulation Study on Dynamic Multinomial Probit Model Focusing on New Brand Entry” in Proceedings of International Symposium on The Art of Statistical Metaware, The Institute of Statistical Mathematics ISM Report on Research and Education, No.21, pp. 282–283 (March 14-16, 2005 - Tokyo, Japan)

(2) 学会活動

- 1) レフェリー：Journal of Electronic Commerce Research

(3) 研究助成など

- 1) 平成16年度 共同利用研究費：10.2万円

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：マーケティング特論

経営・政策科学研究科：マーケティング・サイエンス

社会工学類：プログラミング実習，マーケティング工学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：パンフレット委員

経営・政策科学研究科：研究科総務，パンフレット委員

社会工学類：授業評価担当委員，就職活動担当委員

後藤 順哉

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 今野・刈屋・木島編 『金融工学事典』(朝倉書店)(1項目)

ii) その他

- 1) Gotoh, J. and Takeda, A. (2004), "A Linear Classification Model Based on Conditional Geometric Score," Inst. of Policy and Planning Sciences Discussion Paper Series No.1096. Univ. of Tsukuba. (Pacific Journal of Optimization, 1)

iii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) J. Gotoh and A. Takeda, "A Classification Model Based on Conditional Geometric Score," The 6th Conference on Optimization: Techniques and Applications, University of Ballarat, Australia, December 2004.
- 2) 後藤、武田, "Conditional Geometric Score に基づく線形判別モデル," 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2005 年春季研究発表会, 東京農工大学, 2005 年 3 月 16, 17 日.
- 3) 金, 後藤, 住田, "A New Approach for Computing Bond Prices with Underlying Assets of the Hull-White Model Type", 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2005 年春季研究発表会, 東京農工大学, 2005 年 3 月 16, 17 日.
- 4) 後藤、武田, "A Linear Classification Model Based on Conditional Geometric Score," 「最適化：モデリングとアルゴリズム」研究集会, 統計数理研究所, 2005 年 3 月 22, 23, 24 日.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー (Pacific Journal of Optimization, 2 件)

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 「半正定値計画によるクラスタリング問題の効率的解法と金融リスク分析への応用」
- 2) 科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) 「制御不能な部分システムを含む最適化問題」(代表者: 山本教授)
- 3) 受託研究: 「信用リスク制御に関する問題解法」及び「OU プロセス吸収壁問題数値解法」みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社 (住田潮教授、山本芳嗣教授と共同 平成 16 年 1 月 ~)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：ファイナンス理論 II、ファイナンス：理論と実践

社会学類：社会学概論及び実習、フレッシュマンセミナー、ファイナンス II、計算機科学

(2) 役職・各種委員会委員

経営・政策科学研究科：カリキュラム委員

社会学類：広報、1年生クラス担任

齋尾 直子

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 三重野，齋尾「地域運営型まちづくり組織に関する研究」日本建築学会関東支部 2004 年度研究論文報告集・，177-180，2005.03（2004 年度関東支部若手優秀研究報告賞受賞）
- 2) 清水，齋尾他「農村計画研究における「領域」の捉え方」農村計画学会誌，24 巻 1 号，2005.6
- 3) 日本建築学会「キャンパスマネジメントハンドブック 21 世紀をささえる大学像と都市連携」(2004.8)(共著)，単著部分「II-1-9 環境マネジメント・環境 ISO」「II-3-5 ユーザー参加型のキャンパス点検評価」
- 4) 農村環境整備センター「農村と環境 No.20 特集：農村の環境美学」(2005.2)(共著)，単著部分「地域性の創造と『伝統文化』」
- 5) 農村計画学会 若手ネット活動報告「市町村合併時代の農村計画ネットワーク構築」(平成 16 年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(1)(課題番号 16638005) 成果報告書)(2005.3)(分担)

(2) 学会活動

- 1) 日本建築学会 農村計画委員会 本委員会幹事
- 2) 日本建築学会 農村計画委員会ラバーンデザイン小委員会委員
- 3) 日本建築学会 都市計画委員会 キャンパス計画小委員会委員

- 4) 日本建築学会 関東支部農村建築専門研究委員会副査
- 5) 農村計画学会 査読委員会委員
- 6) 農村計画学会 若手研究者ネットワーク事業幹事
- 7) 都市住宅学会 編集委員会委員

(3) 研究助成など

- 1) 平成 16 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C)(1)(企画調査) (代表者, 課題番号 16638005) 「市町村合併時代の農村計画ネットワークの構築に関する研究」
- 2) 平成 14-16 年度科学研究費補助金 基盤研究 (A)(1)(一般) (分担者, 課題番号 14206028) 「中山間地域における持続発展型農村経営の方法に関する研究」
- 3) 平成 16-17 年度科学研究費補助金 基盤研究 (B)(1)(一般) (分担者, 課題番号 16360297) 「都市環境再生を目標とした大学と地域の持続的連携計画マネジメントに関する研究」
- 4) 平成 17-18 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C)(1)(一般) (分担者, 課題番号 17560551) 「環境配慮型大学キャンパス・マスタープラン創出における都市政策との連携に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：地域施設計画演習

経営・政策科学研究科：公共空間計画

社会工学類：社会工学実習，都市空間の計画とデザイン，アメニティ創造のまちづくり実習，町並みリフォーム演習，総合演習（社会システム分析）

(2) 役職・各種委員会委員

総務委員，クラス担任，経営政策科学研究科入試実施委員

III. 社会的活動

- 1) 文部科学省（日本建築学会受託）既存学校施設の有効活用に関する調査研究会委員
- 2) 農林水産省（農村環境研究センター受託）美の里づくりガイドライン編集委員会委員

新谷 由紀子

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 菊本虔, 新谷由紀子「大学等発ベンチャーの課題と推進方策に関する調査研究」平成16年度文部科学省21世紀型産学連携手法の構築に係るモデルプログラム成果報告書, 2005.3
- 2) 新谷由紀子「日本の大学と企業の産学連携上の倫理意識の比較 産学連携における倫理をめぐる諸問題の研究 その2」文理シナジー・第8巻第3号, pp. 165-175, 2004.10
- 3) 新谷由紀子「日本の大学と欧米の大学の産学連携上の倫理意識の比較 産学連携における倫理をめぐる諸問題の研究 その1」文理シナジー・第8巻第3号, pp. 153-164, 2004.10
- 4) 新谷由紀子, 菊本虔「大学から産業界への技術移転の方法と課題」電気技術史研究会資料 HEE-04-6, pp.7-12, 2004.7
- 5) 新谷由紀子, 佐土原聡, 吉田聡「緑環境政策のための都市居住者の居住地選定における緑環境の位置付け 東京都心部における地価に影響する要因分析に基づく一考察」文理シナジー・第8巻第2号, pp. 87-97, 2004.4

II. 教育・業務活動

(1) 役職・各種委員会委員

産学リエゾン共同研究センター：運営委員会委員

八森 正泰

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 論文

- 1) Masahiro Hachimori and Koya Shimokawa, Tangle sum and constructible spheres, Journal of Knot Theory and Its Ramifications, 13 (2004), 373-383.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 八森正泰, タングル和と3次元球面の構成可能性, 離散幾何・グラフ理論研究集会 2004、九州東海大学、2004年7月17-19日.
- 2) 八森正泰, セル複体のモース指数について, 日本数学会 2004年度秋期総合分科会, 北海道大学、2004年9月19-22日.
- 3) 八森正泰, Acyclic signing, shellability とベッチ数, 日本OR学会関西支部『コンピュータシオン研究部会』, 京都大学、2004年12月13日.
- 4) 八森正泰, Acyclic recursive signing と shellability, 2004年度応用数学合同研究集会、龍谷大学、2004年12月20-22日.
- 5) 柏原賢二・八森正泰, 凸幾何のFree複体のトポロジーについて, 2004年度応用数学合同研究集会、龍谷大学、2004年12月20-22日.

(2) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金(若手研究(B))「単体的複体のトポロジー的組合せ論とグラフの非巡回的向き付け上の最適化問題の研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：情報基礎数理特論

社会工学類：情報リテラシー，経営工学情報実習，プログラミング実習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学系：コンピュータ委員

システム情報工学研究科：中間評価委員

経営・政策科学研究科：機器委員

社会工学類：コンピュータ委員，学生委員，2年次クラス担任

原田 信行

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 深尾光洋, 原田信行ほか『検証 日本の収益力』中央経済社, 2004.
- 2) 浅子和美, 原田信行, 「景況感とアンケート調査 - 変化方向と水準は異曲同工か? - 」, 経済研究, 第55巻第2号, pp. 171-184, 2004.
- 3) Miyagawa T., Y. Ito and N. Harada, “ The IT Revolution and Productivity Growth in Japan ”, Journal of the Japanese and International Economies 18, 362-389, 2004.
- 4) Kutsuna K. and N. Harada, “ Small Business Owner-Managers as Latent Informal Investors in Japan: Evidence from a Country with a Bank-based Financial System ”, Venture Capital: An International Journal of Entrepreneurial Finance 6, 283-311, 2004.
- 5) Harada N., “ Productivity and Entrepreneurial Characteristics in New Japanese Firms ”, Small Business Economics 23(4), pp. 299-310, 2004.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 原田信行, 「テレビゲーム需要の実証分析 - 家計データによる接近 - 」, 日本経済学会 2004 年度春季大会.
- 2) 原田信行, 石川智久, 「部門別設備投資と内部資本市場 - 製造業パネルデータを用いた実証分析 - 」, 日本経済学会 2004 年度秋季大会.
- 3) 本庄裕司, 原田信行, “ SME Policy, Capital Structure and Firm Growth: Evidence from Japan ”, 日本経済学会 2004 年度秋季大会.

iii) その他

- 1) 原田信行, 石川智久, 「部門別設備投資と内部資本市場 - 製造業パネルデータによる実証分析 - 」, 社会工学系 Discussion Paper No. 1093, 2004.
- 2) Harada N., “ Video Game Demand in Japan: A Household Data Analysis ”, Institute of Policy and Planning Sciences Discussion Paper No. 1097, 2004.
- 3) 原田信行, 「小規模企業の退出」, RIETI Discussion Paper Series 05-J-006, 2005.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：計量経済学 II, 社会経済システム演習
社会工学類：統計学 I, 情報リテラシー演習

(2) 役職・各種委員会委員

社会工学類：クラス担任

III. 社会的活動

1) 経済産業研究所「中小企業研究会」委員

水野 誠

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 水野誠, 野口雅美 (2005), 消費のリーダーシップの創発：マルチエージェントシミュレーション, 進化経済学会第9回大会. (2005/3/27)
- 2) 長澤良次、織田瑞夫、戸高明哲、岡平祐介、水野誠 (2004), 第3世代携帯電話サービスの普及と価格設定, マーケティング・サイエンス学会第76回研究大会. (2005/12/5)
- 3) Mizuno, Makoto and Mayomi Haga, Does Heterogeneity Change with Usage Experience? - A HB Analysis on Sensory Data, International Conference on Recent Development of Statistical Modeling in Marketing. (2004/12/1)
- 4) 水野誠, 日本人の「生活階層意識」と消費へのインパクト, 第29回消費者行動研究コンファレンス. (2004/11/20)
- 5) Mizuno, Makoto, Suzuki, Hideo, Sumita, Ushio and Saji, Akira, Cost-Benefit Analysis of Several Hard-Segmentation Methods for Identifying Target Customers, Marketing Science Conference at Erasmus University Rotterdam. (2004/6/6)
- 6) 鈴木秀男, 水野誠, 住田潮, 佐治明, CRMにおけるターゲット識別手法の評価: 決定木、ロジスティック回帰、サポートベクターマシンの比較, マーケ

ティング・サイエンス学会第75回研究大会。(2004/6/12)

(2) 学会活動

- 1) 日本オペレーションズリサーチ学会誌 レフェリー
- 2) 日本行動計量学会誌 レフェリー

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費補助金・基盤研究(C)(2)「消費者選好の形成と変化に関する研究」

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：マーケティング，MBA演習

社会工学類：マーケティング，経営の科学，社会工学実習

III. 社会的活動

- 1) 日本能率協会「新商品開発とマーケティング・リサーチ」講演
- 2) 構造計画研究所「KK-MASコンペティション」審査委員

三橋 平

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) Greve, Henrich R. & Hitoshi Mitsuhashi. 2004. Multiunit Organization and Multimarket strategy: The Dynamics of Market Entry and Commitment. *Scandinavian Journal of Management*, 20, 9-30.
- 2) Sine, Wesley D., Hitoshi Mitsuhashi, & David Kirsch. Forthcoming. Revisiting Burns and Stalker: Formal structure and new venture performance in emerging economic sectors. *Academy of Management Journal*.
- 3) Mitsuhashi, Hitoshi & Hisaki Yamaga. Forthcoming. The market and learning structures for gaining competitive advantage: An empirical study of two

perspectives on multiunit-multimarket organizations. *Asian Business & Management*.

- 4) Min, Jung Won & Hitoshi Mitsuhashi. 2005. Beneficial versus Harmful Non-local Experience. A paper presented at the 2005 Academy of Management Meeting, Honolulu, Hawaii.
- 5) Mitsuhashi, Hitoshi, Wesley W. Sine, & Hisaki Yamaga. 2005. The Effects of Density and Crowding on Market Entry Behavior in Geographical Space. A paper presented at the 2005 Academy of Management Meeting, Honolulu, Hawaii.
- 6) Sine, Wesley D., Hitoshi Mitsuhashi, & David Kirsch. 2005. Revisiting Burns and Stalker: Formal structure and new venture performance in emerging economic sectors. A paper presented at the 2005 Academy of Management Meeting, Honolulu, Hawaii.

(2) 学会活動

- 1) レフェリー (Management Science, Organization Science, Organization Studies, Academy of Management Conference)

(3) 研究助成など

- 1) 科学研究費若手研究 (A), 村田財団研究助成金 (リーダー: 吉田あつし先生)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科: 経営組織特論

経営・政策科学研究科: 経営戦略論, 組織行動論 II, 特定課題研究

社会工学類: 社工特設科目, 経営の科学

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科: FD 委員

(3) 他大学における講義

- 1) 青山学院大学大学院国際ビジネス研究科 非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 筑波大学附属坂戸高等学校「起業基礎」研究指導員

柳原 宏和

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 柳原 宏和, 吉本 敦, 能本 美穂, 林分成長分析のための一般化非線形混合効果モデル, 森林資源管理と数理モデル Vol. 3, 鹿又秀聡・吉本敦 編集, 森林計画学会出版局, 14-46, (2004).
- 2) H. Yanagihara, C. Matsumoto and T. Tonda, Asymptotic expansion of the null distribution of the modified normal likelihood ratio criterion for testing $\Sigma = \Sigma_0$ under nonnormality, Hiroshima Mathematical Journal, 34 (2004), 81-100.
- 3) 柳原 宏和, 大瀧 慈, B-スプラインノンパラメトリック回帰モデルにおける過剰適合の回避について, 応用統計学, 33 (2004), 51-69.
- 4) K. Satoh, H. Yanagihara and M. Ohtaki, Clustering method by connected neighborhoods and its application. Advances and Applications in Statistics, 4 (2004), 223-231.
- 5) 柳原 宏和, 吉本 敦, 単純同齢林における林木成長パターンのクラスタリング, 森林資源管理と数理モデル Vol. 4, 近藤洋史・吉本敦・松村直人 編集, 森林計画学会出版局, 49-70, (2005).
- 6) 吉本 敦, 柳原 宏和, 能本 美穂, 最適林分経営モデルによる間伐計画最適化と炭素吸収量, 森林資源管理と数理モデル Vol. 4, 近藤洋史・吉本敦・松村直人 編集, 森林計画学会出版局, 71-92, (2005).

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) H. Yanagihara, Corrected version of AIC for selecting multivariate normal linear regression models in a general nonnormal case, The 69th Annual Meeting of the Psychometric Society, the Pacific Grove, Monterey, California, USA, June 15-17, 2004.

- 2) 藤越 康祝, 柳原 宏和, 若木 宏文, 非正規多変量線形モデルにおける変数選択に関する情報量規準のバイアス補正について, 2004 年度 統計関連学会 連合大会, 富士大学, 花巻, 平成 16 年 9 月 4 日 - 6 日.
- 3) 柳原 宏和, Ke-Hai Yuan and Peter M. Bentler, Bartlett corrections of test statistics for homogeneity of means and covariances with incomplete data, 統計的漸近理論, 東京, 平成 16 年 11 月 15 日 ~ 16 日.
- 4) 柳原 宏和, 富田 哲治, 松本 智恵子, Bias correction of cross-validation criterion for model selection in a general case, 科研費研究集会 統計的推測の理論と応用, 広島, 平成 17 年 1 月 28 日 ~ 29 日.
- 5) 柳原 宏和, 吉本 敦, 二宮 嘉行, 複数の成長パターンを持つスギ単純同齡林における炭素固定量予測, 森林資源管理と数理モデル第五回シンポジウム - FORMATH KYOTO 2005 -, 京都, 2005 年 3 月 12 日 ~ 13 日.

iii) その他

- 1) H. Yanagihara and K.-H. Yuan, Three approximate solutions to the multivariate Behrens-Fisher problem, Technical Report No. 04-06, Statistical Research Group, Hiroshima University.
- 2) H. Yanagihara, A family of estimators for multivariate kurtosis in a nonnormal linear regression model, Technical Report No. 04-08, Statistical Research Group, Hiroshima University.
- 3) 柳原 宏和, 非正規データにおける情報量規準を用いた共分散構造モデルの選択問題-「日本人の国民性調査」データへの適用-, Institute of Policy and Planning Sciences, Discussion Paper Series No. 1091.
- 4) H. Yanagihara, T. Tonda and C. Matsumoto, Bias correction of cross-validation criterion based on Kullback-Leibler information under a general condition, Technical Report No. 05-01, Statistical Research Group, Hiroshima University.

(2) 学会活動

- 1) レフリー: Computational Statistics & Data Analysis, 応用統計学, Journal of the Japanese Society of Computational Statistics, Journal of the Japan Statistical Society, Behaviormetrika

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省科学研究費補助金 (若手研究 (B), 代表者), 「歪みをもち裾の重い誤差分布を用いた回帰分析法の開発」, 課題番号 15700242.
- 2) 文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2), 分担者), 「不確実環境における森林資源最適確率制御モデルによる炭素固定の経済分析」, 課題番号 15330048.
- 3) 文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2), 分担者), 「多変量解析における変数選択問題に関する理論的基礎と応用」, 課題番号 15300092.

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

経営・政策科学研究科：統計学 I.

社会工学類：線形代数 II, プログラミング実習, 社会経済システム情報実習.

山鹿 久木

I. 研究活動

(1) 研究業績

- 1) 岩田真一郎・山鹿久木 (2004), 「住宅の品質と所有形態」, 『住宅土地経済』, No.54, 20-29.
- 2) Iwata, S. & Yamaga, H. (2004), “The Costs and Benefits of Tenancy Rent Control in Tokyo”, IPPS Discussion Paper Series 1081, University of Tsukuba.
- 3) Mitsuhashi, H. & Yamaga, H. (2004), “Structures of Multiunit and Multimarket organizations and Competitive Advantage of Hotels in the Tokyo Metropolitan Area, 1989-2002”, The 2004 Association for Japanese Business Studies Conference Proceedings.
- 4) Iwata, S. & Yamaga, H. (2004), “Rental Externality, Tenure Security, and Housing Quality”, A paper presented at the Asian Real Estate Society Conference, 9-12 August 2004, Delhi, India.
- 5) Ohtake, F. & Yamaga, H. (2004), “Effects of the Old-Age Pension System for Active Employees on the Labor Supply of Elderly Male Workers,” The Economics of Social Security In Japan, edited by Toshiaki Tachibanaki, Edward Elgar Publishing Ltd, December 2004, pp.136-169.

- 6) 山鹿久木 (2005), 「住宅・土地市場の実証分析と政策論の課題」パネルディスカッション報告『都市住宅学』No.48, pp.49-58.

(2) 学会活動

- 1) 都市住宅学会 関東支部常議委員
- 2) 都市住宅学会 編集委員
- 3) 都市住宅学会 総務企画委員

(3) 他大学における講義

- 1) 科学研究費, 若手研究 (B)
- 2) 科学研究費, 基盤研究 (B)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：都市成長管理論演習

経営・政策科学研究科：環境経済評価論

社会工学類：微積分 II, 都市と地域の経営・行政論, 地域経済学演習

(2) 他大学における講義

- 1) 国土交通大学校 非常勤講師

III. 社会的活動

- 1) 東アジア経済の統合の進展と日本の都市集積研究会委員 (経済産業研究所)

吉田 謙太郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- i) 著書および論文

- 1) 吉田謙太郎「地方環境税導入のための環境便益移転可能性の実証分析」『都市計画論文集』39(3), 2004年, pp.571-576
 - 2) 吉田謙太郎「地方環境税導入時における住民参加手法としての環境評価利用 神奈川県水源環境税を事例として」『環境経済・政策学会和文年報』9, 2004年, pp.195-208
 - 3) 和田一郎・吉田謙太郎・森田展彰・佐藤親次・中谷陽二「住民による児童虐待防止事業の政策評価」『犯罪学会誌』70(5), 2004年, pp.139-152
 - 4) 石田章・井本浩樹・吉田謙太郎「棚田オーナー制度の持続性に関する考察 島根県柿木村の事例」『農業経済論集』55(2), 2005年
 - 5) Peterson, H.H., and K.Yoshida “Quality Perceptions and Willingness-to-Pay for Imported Rice in Japan.” Journal of Agricultural & Applied Economics, 36(1), 2004, pp.123-141
 - 6) 吉田謙太郎「環境政策立案のための環境経済分析の役割 地方環境税と湖沼水質保全」『家計経済研究』63, 2004年, pp.22-31
 - 7) 吉田謙太郎「都市生態系の社会経済評価」『広島大学大学院国際協力研究科21世紀COEプログラム Discussion Paper Series』Vol.2003.3, 2004年, pp.1-17
 - 8) 吉田謙太郎「生物多様性の経済評価」『日本生態学会関東地区会報』52, 2004年, 24-27
 - 9) Yoshida, K. and H.H. Peterson, “Japanese Perception of Safety and Willingness-to-Pay for Imported Rice.” In Huang, Z., K.Z.Chen, and M. Shi eds. Food Safety: Consumer, Trade, and Regulation Issues, 2004, pp.164-170
- ii) 学会等での口頭発表・講演等
- 1) 吉田謙太郎「地方環境税導入のための環境便益移転可能性の実証分析」日本都市計画学会、2004年11月
- (2) 学会活動
- 1) 農村計画学会・編集委員会委員
 - 2) 農業経済学会・編集委員会委員
 - 3) 査読委員（環境経済・政策学会、土木学会、都市計画学会）
- (3) 研究助成など
- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B), 地方環境税導入のための効率的な意思決定支援手法の研究

- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)(2), 草地生態系の物質循環機能を考慮した酪農の持続的生産体系と LCA 分析 (分担)
- 3) 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)(1), 循環型社会形成に調和する日本型農業モデルの構築 (分担)
- 4) 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B)(2), 都市環境創造における政策過程・政策成果と社会的能力に関する研究 (分担)
- 5) ニッセイ財団環境問題研究助成, 日本漁業における多面的機能に関する問題の整理と展望 (分担)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：環境経済・政策学特論

環境科学研究科：社会環境システム論、循環型社会システム論

社会工学類：プロジェクトの評価とファイナンス、都市と環境の経済学、社会調査実習、都市計画マスタープラン策定実習

(2) 役職・各種委員会委員

環境科学研究科：カリキュラム委員

社会工学類：教育図書委員、新入生オリエンテーション委員

(3) 他大学における講義

1) 宇都宮大学 (非常勤講師)

2) 中央大学 (非常勤講師)

III. 社会的活動

- 1) 防災科学技術研究所「災害に強い社会システムに関する実証的研究」客員研究員
- 2) 台東区役所「台東区文化政策懇談会」専門調査員
- 3) 漁港漁場漁村技術研究所「漁村振興活性化対策調査」委員
- 4) 広島大学大学院国際協力研究科「21世紀 COE プログラム社会的環境管理能力の形成と国際協力拠点」共同研究者
- 5) 全漁連「水産業・漁村の多面的機能支援化委託事業」委員

- 6) 政策研究大学院大学「文化庁委嘱事業「文化芸術振興による経済への影響に関する調査研究」」委員
- 7) 講演等（畜産草地研究所ほか）

吉田 友彦

I. 研究活動

(1) 研究業績

i) 著書および査読つき論文

- 1) 眞嶋二郎・住宅の地方性研究会編「地域からの住まいづくり 住宅マスタープランを超えて」2005.3、ドメス出版（共著）
- 2) 吉田友彦「旧住宅地造成事業による首都圏北東地域の開発過程」、2005.1、日本建築学会計画系論文集第 573 集、pp.129-134（単著）

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) 安藤俊生・吉田友彦「ロードサイドショップの街区形態に関する研究 埼玉県久喜市を事例として」2004.8、日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.301-302
- 2) 赤井禎・吉田友彦「高齢者の近隣地域内継続居住に関する研究 東京都豊島区を事例として」2004.8、日本建築学会大会学術講演梗概集、pp.169-170
- 3) 小山雄資・吉田友彦「筑波研究学園都市の中心地区における住宅供給の特徴と動向 - 近年供給される民間分譲マンションに注目して」2004.8、p.1391-1392
- 4) 吉田友彦「つくば市近辺の住宅地事情」2004.6.17、日本建築学会関東支部住宅問題専門研究委員会研究会にて講演

(2) 学会活動

- 1) 日本都市計画学会・学術委員会・委員
- 2) 日本建築学会・建築経済委員会・住宅の地方性小委員会・委員
- 3) 同・関東支部・住宅問題専門研究委員会・委員
- 4) 同・関東支部・研究選集運営委員会・委員
- 5) 同・都市計画委員会・郊外居住地WG・委員
- 6) 同・計画系論文集、技術報告集、及び関東支部研究選集の査読

(3) 研究助成など

- 1) 国土交通省土地関係研究者育成支援事業「首都圏郊外部における放棄住宅地の環境管理に関する基礎的研究」(研究代表者)
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤(B)(2)「伝統的都市における街区保存手法の日中比較 -北京と京都を事例として-」(研究分担者)
- 3) サントリー文化財団「音によるまちづくり -音の景観デザインに関する研究」(研究分担者)

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

環境科学研究科：環境統計分析法、環境科学実習、環境科学演習

社会工学類：土地利用計画・地区整備計画、アメニティ創造のまちづくり実習、社会工学特設講義「町並みのリフォーム演習」

留学生センター：外国人留学生及びチューター向けオリエンテーション(国費2回・私費2回・チューター2回、合計年6回)

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：留学生委員会・委員長

社会工学類：広報委員会・委員

III. 社会的活動

- 1) 龍ヶ崎市市民大学講座・講師
- 2) NPO法人・西山記念すまい・まちづくり文庫運営委員
- 3) 一級建築士登録(296144号)

渡邊 真一郎

I. 研究活動

(1) 研究業績

- i) 著書および査読つき論文

- 1) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (forthcoming). On constructing an objective measure of effort to predict the amount of effort allocation. *The Japanese Journal of Administrative Science*.
- 2) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2005). On work-related self-adjustment discounting the negative impact of performance-demands discrepancies on situational commitment. *Japanese Association of Industrial/Organizational Psychology Journal*, 18, 2, 89-99.
- 3) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2005). A cognitive dissonance explanation of the effect of self-adjustment on the relationship between person-situation discrepancy and situational commitment. *The Japanese Journal of Administrative Science*, 18, 2, 113-126.

ii) 学会等での口頭発表・講演等

- 1) Watanabe, S., Yonetani, Y., & Kanazawa, Y. (2005). Family-supportive organizational policies and Japanese men 's work-family conflict and turnover intention. *American Psychological Society 17th Annual Convention, Los Angeles, CA*.
- 2) Watanabe, S., & Hammer, T.H. (2004). A study on a cognitive bridge from ability to performance. *American Psychological Society 16th Annual Convention, Chicago, IL*.
- 3) Watanabe, S., Yonetani, Y., & Kanazawa, Y. (2005). Family-supportive organizational policies and Japanese men 's work-family conflict and turnover intention. *American Psychological Society 16th Annual Convention, Chicago, IL*.

(2) 所属学会

- 1) American Psychological Association
- 2) American Psychological Society
- 3) Society of Industrial and Organizational Psychology
- 4) Academy of Management
- 5) 日本経営行動科学学会
- 6) 日本産業・組織心理学会

(3) 研究助成など

- 1) 文部科学省研究補助 萌芽研究

II. 教育・業務活動

(1) 担当講義

システム情報工学研究科：「組織科学特論」2単位

経営・政策科学研究科：「組織行動論 I」2単位

社会工学類：「社会調査法および実習」2単位,「経営組織論」2単位,「少子・高齡化社会における労働問題」1単位

(2) 役職・各種委員会委員

システム情報工学研究科：中間評価委員

経営・政策科学研究科：AC専門委員

ANNUAL REPORT 2004 – 2005 No.28

2005年12月発行

発行 筑波大学 社会システム・マネジメント専攻 総務委員会

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

TEL 029-853-5182 FAX 029-855-3849

写真 八森正泰・山鹿久木